

大谷大学広報

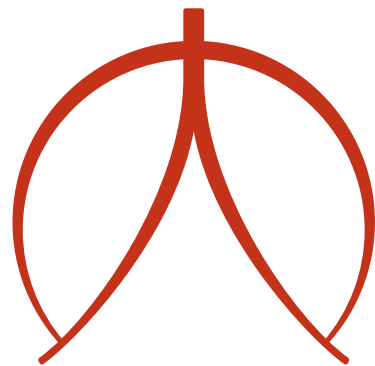
編集 大谷大学広報編集委員会

No.182

2010年1月12日

冬

2009



幼教フェスティバル

14人に聞きました!

～去年はどんな年だった?
今年はどうな年にしたい?～

2009年度課外活動 秋季大会結果

学問のしおり

—英語・英文学とともに—
村瀬 順子

谷大エリア散策(最終回) 文栄堂

SQUARE

文化財の受難
齋藤 望

冬扇

北陸では、報恩講の時節になると、雷が鳴り、霰あられが降る。時には吹雪くこともある。そんな時、北陸の寺で生まれた母は、11月になって気候が荒れると、必ず「これ、おしっちゃ荒れ、と言うがや」と言っていた。

おしっちゃ、とは報恩講のことである。東本願寺の報恩講が七昼しちちゆう夜勤められることから、北陸の真宗門徒は、報恩講という大事な仏事に万感の思いを込めて、おしっ

ちゃさん、と言っていた。そう言えば、母の口からは、おしっちゃん、とは聞くものの、報恩講、という言葉は耳にしたことがなかった。

報恩講の時節には、農村を基盤とする北陸の門徒衆は、秋の農繁期を終えてひと息入れる。そして、冬支度をしつつ、おしっちゃん、を心待ちにする。この一年の歩みを、親鸞聖人と語らうためである。おしっちゃん荒れ、とは、門

徒衆を、つまり母をして、聞法の場へといざなう「喚鐘」であったに違いない。

母は、人並み以上の赤貧の中、苦勞して私を育てた。だが、「私があんたを育てようと思っても、育たん。そうなとったんや」が、母の言い草であった。母は常に如来を念じ、明るかった。報恩講の時節には、こころが温もってくる。

(水島 見一)

14人に聞きました！

～ 去年はどんな年だった？ 今年はどうな年にしたい？ ～

去年の流行語大賞は「政権交代」。去年1月アメリカでオバマ大統領が誕生しましたが、日本でも去年は「チェンジ」の年となりました。

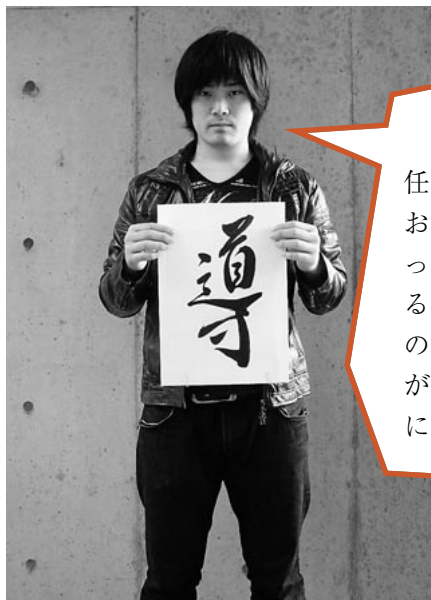
さて、2010年が幕を開け、みなさんも心新たに新年を迎えられたことと思います。あなたにとって去年はどんな年でしたか？そして今年はどうな年にしたいと思いますか？

お正月、年賀状を書きながら、家族や友人と食卓を囲みながら、あるいは初詣に行き、去年一年を振り返り、今年の夢や抱負を心に誓った経験は誰もがもっているはず。是非あなたの「去年はどんな年だった？今年はどうな年にしたい？」についてお聞かせください。

2009 去年組

去年はどんな年だった？

「反省また反省」



(吉田 隼人
社会学科 第3学年)

語学の授業で指導している視覚障がいの学生さん用に韓国語の点字を覚えました（これは「ア」です）。点字も点字板を触るのもはじめて。世界が広がりました。最近、日本語の点字も覚えたので切符売り場で怪しい人になっています。（点字解読中）

1月から書道部の部長に就任し、若葉祭や作品展示会において部の中心として引っ張って来ました。団体を指揮する大変さと部長としての器量の不足を思い知らされましたが、それらを含めていい経験になったと思います。

4月には新学科の教育・心理学科、8月には新講習の免許状更新講習、9月には新校舎の4号館・5号館…。そしてそれぞれの準備に追い立てられながらの1年。早かった…。

「意外に楽しいです」



(喜多 恵美子
准教授 韓国・朝鮮美術)

「光陰矢の如し」



(鈴木 善幸
教務課 職員)

「完全征服！」



(キム・ゴンジュン
博士後期課程 仏教学専攻 第1学年)

去年は入学して「新しく始める」1年だった。新しい勉強、新しい友達など。留学は勉強も大切だが、その国の文化を理解することも大切だと思う。だから今年はおちこちを旅行しながらさまざまな人々に会って多くのことを経験したい。

2009年5月2日、「雨上がりの夜空に」「トランジスタラジオ」の忌野清志郎、遠い世界へ旅立つ。自転車で。



(古屋 哲
講師 国際関係論、文化人類学)

「窓口」



(寺本 真悠
学生支援課 職員)

昨年1月から学生支援課窓口担当になりました。毎日9時から5時まで多くの学生が来課。当初はわからないことばかりでしたが、昨年1年間で多様な学生さんたちに日々勉強させてもらいました。今後も窓口にいる予定ですので、学生生活に関して困った際は、気軽に相談にきてください。

C O N T E N T S

- p. 2…14人に聞きました！
～去年はどんな年だった？
今年はどうな年にしたい？～
- p. 6…CAMPUS☆TOPICS
- p.20…紫明祭を終えて
「全ては紫明祭の為に…」
- p.22…2009年度 秋季大会結果
- p.25…学問のしおり
- p.26…Keiji☆Ban
- p.34…谷大エリア散策
- p.35…学生相談室から
- p.36…研究室だより
- p.37…学会だより
- p.38…入試結果
- p.40…大谷中学・高等学校
九州大谷短期大学からの
お知らせ
- p.41…TANIDAI FRONT
- p.43…2009年度学年暦
- p.44…SQUARE

表紙のことば

みんなで作り上げた幼教フェス、

歌った！！
踊った！！
笑った！！
泣いた！！

楽しかった！！！！

冬扇

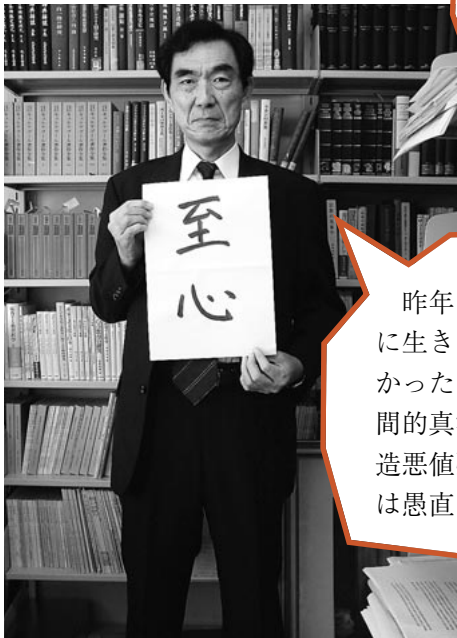
詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の炉や冬の扇のように役にたつたことの意味に用いる。ここでは役にたつた次の次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2010年1月12日発行
発行 大谷大学企画課
編集 大谷大学広報編集委員会
〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学企画課内
電話 (075) 411-8115
FAX (075) 411-8149
URL <http://www.otani.ac.jp/>

2010今年組

今年はどんな年にしたい?

「至心」



(川村 覚昭)
(教授 教育哲学・教育人間学・仏教教育学)

新入生歓迎実行委員会として若葉祭を含む新入生歓迎イベントに関わって2年目になります。前回発見した点を踏まえ、新入生だけでなくいろんな人にも楽しんでもらえるような若葉祭を作っていきたいと思います。

昨年を振り返って果たして自分に忠実に生きたのか、曲学阿世や付和雷同はなかったのか、反省するところしきり。人間的眞実が見えにくくなった昨今、一生造悪値弘誓の金言が身にしみます。今年は無直に生きたいと思う。

「新歓と新入生が大好きです。」



(奥田 真)
(哲学科 第2学年)

「今年こそ!」



(山岡 朝子)
(学生支援課 職員)

私は面倒くさがりである。やる気は常にはない。朝日にも負け、眠気にも負け、日がな一日眠り、気がつくと夕方になっている。1日ナン4枚と少しのカレーを食べ、また眠りにつく。そんな生活を私はしたい。

何事も形から入るタイプの私。着々と準備は進んでいる。和食・洋食・中華・デザートに至るまで、レシピ本は揃った。新調した鍋は、デザイン・性能ともに申し分なし。イメージトレーニングも完璧だ。いよいよ調理に取り掛かる2010年!

「けだるひ」



(満久 顕英)
(眞宗学科 第2学年)

「増えて♪減っても♪」



(平岡 涼
財務課 職員)

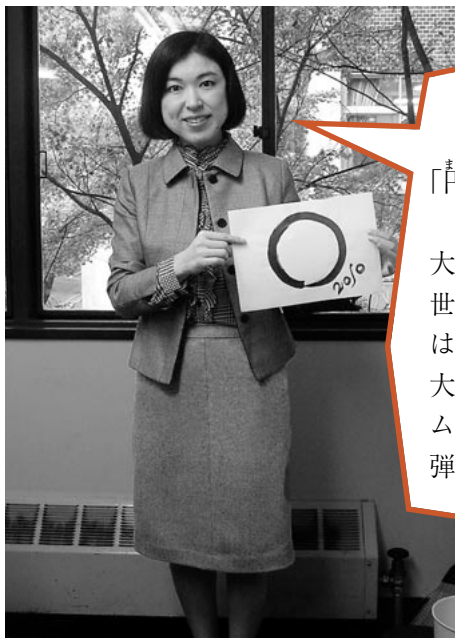
去年は長男が誕生し、我が家の「たからもの」がまた一人増えた。

今年は、去年までに「ためたもの」を減らすことに挑戦しよう。

30歳を過ぎてからは、毎年苦戦を強いられる。「バナナ」を武器にしても大苦戦。さて、今年の流行を検索…、と。

「心を動かさせて♡」

「“まあ～るく” いきます！」



(田中久美子
准教授 社会心理学、教育心理学)

お酒のCM？

いえいえ、今年の抱負は「円やかに」。

ガールズパワー全盛！も大いに結構。でもそんな時世だからこそ、女性ならではの、やわらかさや感性も大切にしたい。そして、ゴム毬のごとく、しなやかに弾む1年に～♪

私の将来の夢は小学校の教師になることです。

そのために私は2010年をさまざまな事や物に心を動かす年にしたいです。

多くの人と出会い、多くの経験をし、自然に触れ考え方を広げ、柔軟な心をつくっていきたいです。



(片岡 朋香
教育・心理学科 第1学年)

「こんな年に」



(古川 哲史
准教授 歴史学(アメリカ、東アフリカ)、
比較文化・社会論)

先行き不透明な政治や経済、社会状況のなか、この時期にまだ就職活動で慌しくしている学生と接していると、2010年は少しでも空が（そして心が）澄むような年になってほしいと思います。書はホームカミングデーに戻ってこられた元ゼミ生・書道部の服部瑞遷（恵里）氏によるものです。

2009年度 大谷大学教育後援会文芸奨励賞

「未来のわたしへ」50字表現 入賞作品発表

今年度で4年目をむかえる、大谷大学教育後援会「文芸奨励賞」の入賞作品を発表します。この賞は、在学生を対象に文芸作品を募集し、言葉による表現意欲を奨励することを目的にしています。

「文芸奨励賞」の応募にあたり、自分の専門分野のみの学びにとどまらず、文芸作品を創る楽しさを体験し、将来の目標達成のため自己実現をめざし、一人ひとりの持っている幅広い能力と個性をおおいに発揮されることを願っています。

今年度は「未来のわたしへ」をテーマに50字以内で表現していただきました。今回、昨年を上まわる203名の応募が寄せられ、選考の結果、次の方々が入賞されました。

表彰式は、12月2日(水)「尋源講堂」において行われました。

最優秀賞

日野 怜 (真宗学科第3学年)

優秀賞

田宮 真人 (哲学科第4学年)

中井 阿里沙 (哲学科第1学年)

佳作

石原 大輝 (哲学科第3学年)

西田 絢葉 (哲学科第1学年)

泉谷 京子 (文学科第2学年)

細川 万里絵 (仏教学科第3学年)

栴 弘樹 (哲学科第1学年)

松岡 智美 (博士・仏教文化専攻第1学年)

北澤 光祐 (教育・心理学科第1学年)

松村 衣穂 (教育・心理学科第1学年)

〔最優秀賞〕

日野 怜 (文3・真)

今の私が昔の私の想像を超えているように
あなたもきっと私の思いもよらない人
だから安心してあなたになれる

〔優秀賞〕

田宮 真人 (文4・哲)

お前が今の俺の悩みを笑い飛ばして
いてくれたら幸いだ。

お前の悩みは、更に未来の俺が笑い
飛ばしてやる。

〔優秀賞〕

中井 阿里沙 (文1・哲)

ちゃんと人の幸せと自分の幸せが
自然な形でつながった？

〔佳作〕

石原 大輝 (文3・哲)

遠うき日ぬ懐かさ (トゥーキヒンヌナチカサ)
明日ぬ風や吹ちやびて (アチャヌカジャフチャビテ)
私ぬ道やうさゆん (ワンヌミチヤウサユン)
まっ直ぐあちゆん (マツシクアチユン)

(訳)

遠い日の思い出を 明日の風と吹かれて
私のこの道と一緒に 真っ直ぐ歩こう

〔佳作〕

泉谷 京子 (文2・文)

君が偉くなったとしても
偉いのは君じゃない
君を支えていた誰かが偉いんだ
それを忘れなければ
君は偉くなれる

〔佳作〕

栴 弘樹 (文1・哲)

自分のこと大切にしてほしい
だって他の人に「君」は生きられない
どんなに変わっても
僕は君のことが好きだよ

〔佳作〕

北澤 光祐 (文1・教)

僕が今
目指す地平線
そこに立った君は
次の地平線に
何を夢見るのだろう
今でさえ
理想は限りなく
遠いというのに

〔佳作〕

西田 絢葉 (文1・哲)

あの日見たUFOに連れ去られなかったこと、
感謝しなくちゃいけないのかもしれないね。

〔佳作〕

細川 万里絵 (文3・仏)

例えば50年先にいる私が、あの子と2人で
ビール片手に鴨川で青くさい話した事を
どうか覚えていてますように。

〔佳作〕

松岡 智美 (院博1・仏文)

あっ、また前ばかり見てあくせくしてる。
少しは後ろを振り返ってみて下さい。
笑って見守ってますから。

〔佳作〕

松村 衣穂 (文1・教)

自分の夢は叶いましたか？
あなたは子どもたちの
鏡であり太陽でもあるんだよ。
だから曇ってはいけないんだよ。

文芸奨励賞の願い

2009年度の文芸奨励賞の募集に、これまで最多の203編の作品が寄せられました。あらためて申し上げるまでもなく、この文芸奨励賞は大谷大学に学ぶ学生の皆さんを対象に、言葉による表現意欲を高めていただくことを目的に4年前に創設されました。今年度は「未来のわたしへ」伝えたいことをテーマに応募していただきました。

さて、審査の場に出席させていただき、それぞれの作品に込められた「未来のわたしへ」の熱き思いに共感し、かつ「未来のわたし」と「現在のわたし」という時空的な狭間の中で揺れ動く心の葛藤を吐露していただき、文芸奨励賞の願いに大いに応

大谷大学教育後援会会長 今川 雅照

えていただいたと思います。審査員である「現在のわたし」自身に届けられた、「過去のわたし」からのメッセージではないかと錯覚するような作品にも数多く出会わせていただきました。その喜びと励ましに、幾度となく手が止まりました。

今回は、最優秀賞1編、優秀賞2編、佳作8編が選出されました。特に最優秀賞を受賞されました日野怜さん(文学部真宗学科第3学年)の作品には、現在と未来のわたしのやわらかな眼差し、安らぎ、豊かな心情表現を感じました。最後に、今回応募されました全ての皆さんと、ご尽力を賜りました教職員の方々に、心から御礼を申し上げます。

文芸奨励賞「未来のわたしへ」講評

大谷大学教育後援会文芸奨励賞、本年度は新しいテーマ「未来のわたしへ」に対して、過去最多の203作品の応募がありました。選考は、教育後援会今川雅照会長と学内4名の教員によっておこなわれました。その結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作8点が選ばれました。

選考委員には203作品すべてに眼を通していただき、特に心に残るものを十数点、まずは候補作として提示していただきました。多くの応募作でしたが、最優秀賞・優秀賞の3作品は、はじめの段階で複数の選考委員から受賞候補作として推薦された

ものでした。

わずか50字に満たない短い文章のなかで、その作品が「何を」「どのように」伝えようとしているのか、委員の議論はその点に集中しました。内容の独創性と表現の巧みさ、選考のポイントはその点に集約されます。多くの作品が集まり、選考も困難が予想されましたが、多くの作品が集まればこそ、逆に独創的で表現の巧みな作品は輝いてみえます。

最優秀賞日野怜さんの作品は、ほぼ全員一致での受賞です。さまざまな経験をくぐって懸命に生きようとする自分をやさしく見守る眼差しが、

学生部長 木越 康

暖かな言い回しによって表現されています。優秀賞の田宮真人さんの作品には、その生き様自体を想像させるような豪放さがありますし、中井阿里沙さんの作品は、他者と共に在ることの大切さを押し付けがましくなく静かな語り口で表現してくれています。

未来の自分への期待と不安が入り混じった学生諸君のさまざまな憶いにふれ、選考委員一同、懐かしんだり胸が熱くなったりと、たいへん楽しいひと時を過ごさせていただきました。

本学学生がWBTFインターナショナルカップに出場

8月6日(木)～9日(日)、本学の柏本安里沙さん(社会学科第4学年)がオーストラリアで開催されたバトントワリングの世界大会である「第5回WBTFインターナショナルカップ」に出場し、フリースタイルチーム部門で見事3位入賞を果たしました。この大会は、世界バトントワリング連合(以下WBTF)が主催するもので、ソロトワールなど5種目の競技大会を2005年より新設し、加盟国及び未加盟国への競技バトンの普及をはかることを目的としています。柏本さんは昨年に続き2回目の出場



(本人 後列左から2番目)

(『大谷大学広報08-秋号』掲載)で、立命館大学バトントワリング部のチームRitumeikan University Baton Team Bに所属されています。

昨年の大会の様子を「初出場だったのでとにかく楽しんで踊ることしか考えていなかった」と語っていた柏本さんは、今年は昨年の経験を活かし上位を狙って良い演技をしたいと日々練習に励んでおられました。

今回の大会について、柏本さんは「インターナショナルカップでは、昨年に引き続き銅メダルをいただくことができました。演技中でのミスが響き思うような結果は出ませんでした。メダルの色は同じでもここまで培ってきた技術と共に汗を流した仲間との絆を思うと、去年とはまた違った重みを感じました。2位と1点差で負けてしまい、悔しい結果となりましたが、今大会に到るまでに、度重



なるメンバーチェンジ、それに伴う振り付けの変更等多くのアクセントを乗り越え、監督の稲垣正司さんをはじめとしたコーチの方々のご尽力のもと練習をしてこられたことに感謝しています。またこの経験を通し、また一回り人として成長することができたこと、昨年と今年と2度も世界を舞台に演技できるチャンスに恵まれたことを本当に嬉しく思います。この素晴らしい経験を社会に出てからも活かしていきたいと思います。」と話してくれました。

(企画課)

本学学生の写真が特選に選ばれる！

本学学生いづかの栞弘樹さん(哲学科第1学年)の写真が、2009年9月発行の『アサヒカメラ』内のコーナー「ファーストステップ」にて特選に選ばれました。

「ファーストステップ」は写真の初級者を対象にした部門で、栞さんの写真は「郷愁」というタイトルで掲載されています。

栞さんは高校1年生の時に写真部に入ったのをきっかけに、写真のおもしろさに気づき、写真を撮り始めました。「写真を撮ることで生まれる表現力、写真を見るこ

とから始まる創造力、そういったものが好きで写真を続けています。」と写真を撮る面白みを話してくれた栞さんは、今回の入選について「初めて応募したコンテストで、いきなり特選に選ばれたので、自分でもびっくりしました。写真に対する自分の熱意がどこまでのものなのかわからなくて、迷っていた時期もあったので今回の入選はほんとうに嬉しいです。」と感想を述べてくれました。

(企画課)



「郷愁」

幼児教育保育科総合研修会を行う

日時：6月27日(土)、28日(日)

場所：花背山の家

プログラム

1日目…	2日目…
10:15 花背山の家到着	6:00 起床
10:30 山崎春人先生による講義 「自然と遊ぼう」	7:00 朝の集い
13:30 オリエンテーリング グループレクリエーション	9:00 「学びの発見」企画発表 手遊び&ミニゲーム
18:30 キャンプファイヤー 交流企画	12:00 花背山の家出発
22:00 就寝	13:00 大学到着、解散

幼児教育保育科では、1、2年生全員を対象に、2009年6月27日(土)～28日(日)の2日間で総合研修会を開催しました。研修は毎年実施していますが、今回のテーマは「自然と遊ぼう」。1日目は、身近にある葉や花などを使った遊びについて講習を受けました。2日目は1年生が授業で取り組んだグループ発表、2年生が保育の場を想定した手あそびやミニゲームを発表しました。保育所や幼稚園での実習や、現場で役立つことと思います。

(幼児教育保育科)

中国・^{びんなん}閩南佛学院に昭圓文庫開設

本学の河内昭圓名誉教授が、長年研究でご使用になった中国文学、哲学、中国仏教、日本仏教などのご自身の蔵書2506冊を閩南佛学院(中国廈門)に寄贈されました。今般、その蔵書が「昭圓文庫」として廈門紫竹林寺にある閩南佛学院女衆院部図書館に開設される運びとなりました。

9月6日(日)に行われた2009年度閩南佛学院入学式において、河内先生ご夫妻ご出席のもと贈呈式が執り行われ、聖輝院長より榮譽証書が、廈門市政府陳建徳部長より記念品が贈呈されました。

同佛学院は閩南(福建南部)仏教の中心である廈門南普陀寺に設けられ、1925年に轉逢法師、会泉法師によって創立された中国最大規模の僧侶の教育機関です。創立以来、多くの僧侶を育て、中国仏教の発展に大きな影響を与えてき

ました。1985年以後は男衆院部と女衆院部の二部に分けられ、男衆院部は廈門南普陀寺に、女衆院部は廈門紫竹林寺にあります。現在、約400人の学僧が予科2年、本科4年、研究生3年(修士課程)の課程で学んでいます。学院を卒業した僧侶は、各地の寺院住職や執事を担い、仏教協会や佛学院の要職についています。2007年5月には木村学長も同学院を訪問されています。

今回、蔵書を寄贈されることとなった経緯は、河内先生の指導を



贈呈式で記念品を贈られる河内昭圓名誉教授

受けられた林観潮氏(2004年3月博士学位取得、現廈門大学哲学系副教授)が、同佛学院で非常勤講師として中国哲学史を教えておられるご縁によるものです。

8日(火)には、同学院講堂において河内昭圓名誉教授による「一九七八年の江南仏教」と題する講演も行われ、閩南佛学院の学僧や廈門大学の学生約500人が熱心に聞き入りました。

(教育研究支援課)



閩南佛学院了法師の揮毫による「昭圓文庫」

本学卒業生 第21回夏季デフリンピックにて銅メダル獲得!

本学社会科学の2003年度卒業生である鈴木恵子さんが、「第21回夏季デフリンピック台北大会2009」

に女子バレーボール日本代表選手として出場し、銅メダルの獲得に貢献されました。

デフリンピックは4年毎に開催される聴覚障害者のオリンピックで、今大会は9月5日(土)から15日

火)にかけて台湾(台北)で開催されました。

予選リーグでは6チームと対戦して2位で通過後、準決勝ではアメリカに惜敗、3位決定戦でベラルーシに勝利し、見事、銅メダル獲得となりました。

鈴木さんは、「今大会は、準決勝で予選の時に勝利していたチームに負けてしまいましたが、3位決定戦で勝って終わることができました。今まで世界大会の決勝戦を2回経験しましたが、2回とも負けて大会が終わる銀メダルでし

た。今回の銅メダルというのは、大会最後の試合に勝って終われたので、本当にうれしかったです。今後は、2013年に開催されるギリシャ・アテネ大会に向けて身体をケアしながら頑張っていきたいで



チームのみなさん(本人前列右から3番目)

す。」と次回大会にむけて意気込みを語ってくれました。

また、12月3日(木)には今大会入賞者の功績を称える厚生労働大臣賞の表彰式に出席されました。

(企画課)



監督と

矢野のり子教授が、博士(学術)の学位を取得

2009年9月、本学の矢野のり子教授が、奈良女子大学から学位論文「初期言語発達における声と意

味—ジャルゴンとひとり言—」により博士(学術)学位を取得されました。

池田佳和教授が株式会社KDDI研究所と通信品質に関する共同研究をスタート!

池田佳和教授が、10月1日(木)に株式会社KDDI研究所とインターネットの通信品質についての共同研究をスタートしました。

インターネットの世界での通信方式は、ギャランティ型(通信品質が保証されているサービス)ではなく「ベストエフォート型(通信品質の保証自体はない一般的なサービス)」の安価なサービスが普及しています。

昨今、インターネット自体が私たちの日常生活において一般的なコミュニケーション手段としてインフラ化し、また地震災害時など

の緊急対応にも利用されるようになり、インターネットが接続される品質を安定・向上させることが課題となっています。

池田先生によると、「通信品質=接続状態の測定」といっても、インターネットの世界では様々なネットワークがチェーンのように複雑に接続されて全体を構成しているため、ピークアワー時の通信品質の劣化の原因を調べることは大変難しい作業だそうです。

今回の共同研究では、そうしたインターネットの現状を受け、様々なインターネットの接続環境

における通信品質を計測するシステム構築により、正確なデータの集積・分析後に通信品質の安定・向上を目指した共同研究となっています。

池田先生は、「今回の共同研究は複数年にわたって継続される予定ですが、この共同研究にインターネットに関心を持つ本学の学生たちにも参加してもらい、最先端の技術開発現場の一端を是非とも直に経験してもらいたいです。」と教育指導上のねらいについても熱く語っておられました。

(企画課)

国文学会大会を開催

10月3日(土)、今年度の大谷大学国文学会大会が尋源講堂で開催されました。

先師法要厳修の後、「解脱上人と明恵上人」という講題で、別府大学短期大学部教授で本学卒業生でもあられる野村卓美先生による

公開講演が催されました。

先生は、明恵上人に関しては『高山寺明恵上人行状』『明恵上人神現伝記』といった「行状系」と、『梅尾明恵上人伝』『梅尾明恵上人物語』といった「伝記系」があり、前者は「基礎的な資料」であるの

に対して、後者は「明恵像が説話的に構成されている」ということをわかりやすく解説されました。

また、明恵上人が見た夢を記録したと言われている『夢記』などに書かれる解脱上人との関係については、「明恵の聖性、を春日明

神が保証し、それを伝える役として当時明恵から一目置かれていた解脱上人が選ばれたのではないか」という先行研究を踏まえた先生のご意見を、わかりやすく説明して下さいました。

尋源講堂には教員、学生、卒業生をはじめとして多くの方が参加され、最後まで熱心に聴講されており、有意義な会となりました。
(国文学会)



野村卓美 別府大学短期大学部教授

教職員を対象とする人権問題学習会を開催

10月14日(水)、大谷大学響流館メディアホールにおいて、人権センター主催による教職員を対象とする人権問題学習会が開催されました。

今年度は本学の人権学習テキスト『差別のない世界を求めて(改訂版)』が全ゼミ・クラスの授業で取り上げられるとともに、全教職員にも配布されました。これを受けて、人権教育推進委員会担当

部会がテキスト学習の状況等に関する資料を作成し、当日は、「大谷大学における人権教育推進について」というテーマで報告され、質疑が行われました。

また、「いじめ問題は、学生が差別問題を考えるきっかけになっている」、「この問題に対する学習意欲を高めるためにどのような工夫ができるだろうか」、「テキストを読んで気づかされたことは何か」

といった点をめぐり、現場での体験を踏まえた意見交換が行われました。

(人権センター)



学習会での報告の様子

2009年度オープンキャンパスの全日程が終了

10月10日(土)、今年度最後のオープンキャンパスが開催されました。

オープンキャンパスでは、毎回40名ほどの学生ボランティアスタッフの協力があり、フリートークコーナーやキャンパスツアーなどで高校生と大学生が楽しそうに会話をしている様子がいたるところで見られました。来場者アンケートにも「楽しく案内してもらいとても良かった。」、「スタッフの先輩方の生き活きとした顔が印象に残った。」等の感想が多く見られました。

第1学年から学生ボランティアスタッフとして協力いただいた中

大路朋幸さん(国際文化学科第4学年)は「オープンキャンパスのスタッフを通して、多くの高校生や学生スタッフ、大学関係者の方と出会うことができました。そこからコミュニケーションの難しさ、高校生が持つ大谷の意外なイメージ、スタッフ同士の信頼関係や団結力を得ることができました。学生スタッフを続けてきて本当によかったです。後輩の方にもスタッフとなって、より良いオープンキャンパスを作ってほしいです。」と感想を述べられました。

本学では、2010年3月下旬に、次年度に向けたオープンキャンパ

スを開催する予定です。学生ボランティアスタッフの募集は、随時おこなっていますので、興味のある方は入学センターまでお越しください。

(入学センター)



楽しく談笑する中大路さん

大谷学会研究発表会を開催



采翠晃講師

10月22日(木)、響流館メディアホールを会場として大谷学会研究発表会を開催いたしました。発表30分、質疑応答10分という限られた時間内の研究発表でしたが、前もって用意された資料に基づきながら、4名の本学教員が日頃の研究の一端を発表されました。

最初に采翠晃講師が「慧思の末法観」という題で発表をされました。中国における末法思想の嚆矢とされている慧思の末法観がどのようなものであったかを、末法思想を中国に伝えたと言われる那連提耶舎の末法観と比較し発表されました。慧思がどのようにして末法を自覚するようになったのか、その背景を考察されながら、その中で采翠講師は慧思の末法観は未来に向けて現在に強烈に働きかけている点において那連提耶舎と異なると述べられました。

次に、芦津かおり准教授が「大岡昇平と太宰治—それぞれの『ハムレット』、それぞれのシェイクスピア—」と題して発表されまし



芦津かおり准教授

た。『ハムレット』の翻案を手がけた2人の作家について、社会的・政治的な側面を前景化して執筆した大岡に対し、個人の心の愛憎を中心に執筆したのが太宰であると両者の相違点をあげられました。どちらも西洋文学に対抗心は燃やしながらも、『ハムレット』が持つ力を認めて独自の表現空間を作り出していると解説をされました。

阿部利洋准教授は「クメール・ルージュ特別法廷と移行期の正義」と題し、1970年代後半にカンボジアを支配したクメール・ルージュ元幹部らを裁く特別法廷について、その諸問題を発表されました。法廷設置へいたる背景を説明するな



阿部利洋准教授

かで、国内外の政治的な立場の違いに起因する問題を明らかにしつつ、移行期の社会では法秩序の実現をめざす動きがもたらす独特の社会的効果に注目する必要があると指摘をされました。

最後に徳岡博巳教授が「保育者として卒業した人たちの動向と実態」という題で発表をされました。保育者として卒業をした人を対象に行われた「卒業生調査」の結果をもとに発表を行われ、卒業後の進路や職場環境、離職理由、仕事にやりがいを感じた事などについて細かく項目をわけて解説をされました。徳岡教授は、保育の現場にはプラスとマイナスの要素が混在しているため、大学と現場が連携し卒業生が抱える不安をサポートすることが不可欠であると発表を結ばれました。

研究発表会は学外からの参加者も多く、活発な質疑応答がなされました。今回の発表内容は、例年通り『大谷学報』に要旨または論文として掲載される予定です。

(大谷学会)



徳岡博巳教授

幼児教育保育科学生、大津市でオペレッタ公演

10月24日(土)、瀬田公民館の大津子どもの広場事業として、本学の幼児教育保育科学生有志によるオペレッタ「みにくいあひるの子」と「てぶくろ」が公演されました。

また10月25日(日)には、大津市仰木の里市民センターの子育て支援講座として、オペレッタ「こびと

のくつや」と「ブレーメンの音楽隊」が公演されました。

瀬田・仰木の里いずれの地域でも子育て世代が増加しており、子育てのあり方を考えて支援していく活動が盛んです。本学の岡村明日香講師と豊住征子非常勤講師、幼児教育保育科の有志学生たちは

そんな地域の期待に応えるために、オペレッタや合唱、リズム遊びを企画し、両地域の参加者の方々大変楽しんでいただきました。

イベントに参加した幼児教育保育科の畑中麻衣さん(第2学年)は、「子どもたちも一緒に楽しんでもらえるような劇にしたいと思

い、動作を大きくし演じることや、自分たちが歌やダンスを楽しむことを大切にしながらたくさん練習してきました。当日もオペレッタを通して、子どもたちと楽しむことができ、素敵な時間を過ごすことができました。」と話してくれました。

最後に子どもたちは、学生が用意したお土産をもらって帰途につきました。幼児教育保育科のみなさん、ありがとうございました。
(教育研究支援課)



ブレーメンの音楽隊

福知山高等学校で特別講演会を開催

11月25日(水)、本学の水島見一教授が京都府立福知山高等学校におきまして、普通科1年生(約160名)を対象に「大きく、深く生きるために」というテーマで特別講演を行いました。

今回の特別講演は、系統的・組織的にキャリア教育を実践し、高いモチベーションを維持しながら進路実現を目指すために福知山高等学校が取り組んでいる「みらいプロジェクト」の一環として招聘を受けたものです。

水島教授は、夢を実現するために努力する上で、いかにその想いを持ち続けることが重要かについて、仏教的な価値観を交えながら講演されました。

また、今回は実際に自分の夢に向けて努力している学生として、中学校教諭を目指している岡本寛寿さん(文学科第4学年)と小学校教諭を目指している杉本和也さん(人文情報学科第4学年)に、教職を目指す動機や現在努力していること、教育実習での思い出等について話していただきました。

今回協力いただきました杉本さ



岡本寛寿さん

んは「今回の経験は、教師を目指す私にとって大きな自信となりました。私の教育実習体験の話や“夢”についてなどの話をさせていただきました。これから教育現場に入っていく私にとって貴重な体験であり、早く現場に立ちたいという強い気持ちが湧きました。」と感想を述べられました。

(入学センター)



杉本和也さん

真宗学会大会を開催

10月27日(火)、響流館3階メディアホールを会場として、大谷大学真宗学会大会が開催されました。この大会は学内外の2名の講師による講演会で、1962年(昭和37年)から開催されています。

今年度はまず、一楽真本学教授による「関東の親鸞一三部経千部読誦の中止を通して一」、続いて今井雅晴筑波大学名誉教授による「親鸞聖人稲田草庵とその環境」の

講演が行われました。

両氏の熱のこもった講演に聴衆も熱心に聞き入っていました。な



一楽真教授

お、この講演については後に学会誌『親鸞教学』に掲載されます。

(真宗学会)



今井雅晴筑波大学名誉教授

「無駄な出会いは1つもない」

本学学生美濃部裕道さん、子育てで悩むお母さんたちへ安心と笑顔をプレゼント

10月29日(木)、滋賀県湖北町地域子育て支援センターが主催する青少年育成講座「どんとこい！思春期」に、本学的美濃部裕道さん(社会学科第4学年)が講師として招かれました。この講座は、お子さんが思春期にあって、反抗期や不登校への対応、自立への困難といったことで悩んでいるお母さんたちを対象に、その悩みを少しでも和らげ解消するヒントを見つけるための学習会です。心療内科の医師やフリースクール運営者などを講師とする講座(5回シリーズ)の最後を美濃部さんが務めました。

した。

美濃部さんは、車椅子に乗る彼自身の体験、とくに家族や地域とのかかわり、車椅子サッカーチーム、重い障害をもつ友人と約束した将来の夢、大学生活など、無駄な出会いは一つもなく、そうした関係の広がりの中で自分らしく生きることの大切さを熱く語り、講演の最後を「人一倍がんばることが大事なのではない。本当に大切なのは<自分らしく>生きること。いろんな人に出会って、ロールモデル(目標となる人)を見つけること」だとまとめました。参

加したお母さんたちからは、「美濃部さんの言葉は穏やかで自分のなかにまっすぐ入ってきた」「子どもを信じるのが子どもの自立につながる事が理解できた」といった声が聞かれ、理解と共感の輪が大きく広がりました。



京都府立鴨沂高等学校との高大連携事業を実施

本学との高大連携協定校である京都府立鴨沂高等学校では、「総合的な学習の時間」として、生徒がそれぞれの興味・関心に従って講座を選択し、一斉講義にとどまらない実験・グループ学習・実技・演習・発表に取り組んでいます。この「総合的な学習の時間」の選択科目である「専門家庭」と「総合古典」の特別講師として、本学教員が体験型の特別授業を実施しました。

10月30日(金)に行われた「専門家庭」の授業では、本学の中田千穂講師が「体でかかわる運動遊び」をテーマに、手遊びや体を使ったゲームを行いました。生徒たちは、「体を使ったコミュニケーション」

が子どもたちと接する際にいかに重要となるかを楽しみながら学びました。

また、11月12日(木)に行われた「総合古典」の授業では、本学のモニカ・ベーテ教授が「能の身体表現」をテーマに、源氏物語が素材である「葵上」を生徒と一緒に演じました。今年度は(昨年度：『大谷大学広報08-冬号』参照)大

江能楽堂のご厚意により、会場をご提供いただきました。初めに大江美智子氏から、大江能楽堂の歴史や能の衣装などご説明いただきました。その後、生徒たちが舞台上に上がり、ベーテ教授の指導のもと、能における身体作法を実際に演じながら学びました。

(企画課)



手遊びの様子



「葵上」実演指導の様子

京都明德高等学校との高大連携事業を実施

11月4日(水)～11月6日(金)、京都明德高等学校との高大連携の取り組みとして、スカラシップ生(9名)の受け入れとインターンシップ生(1名)の受け入れを行いました。

スカラシップとは、大学の授業体験を行うプログラムのことで、実際に本学学生に対して行っている講義混じってともに高校生が受講します。今年度は、本学での学びの基礎となる「人間学」の特別授業を全員で受講したほか、将来の進路希望にあわせて、哲学科をはじめとする9学科の授業を受講しました。スカラシップの受講生からは、「今回のスカラシップを

通じて、大学では人に頼らず自分自身で責任を持って行動しなくてはならないことを学びました。この貴重な体験を、今後の高校生活や日々の勉強、進路実現のために生かしたいと思います。」といった感想などが寄せられました。

また、インターンシップでは、商業科2年生の有馬彰吾さんが博物館業務の就業体験を行いました。博物館では、文化財(典籍・古文書)の取り扱い実習や、収蔵庫内の環境調査(パナプレート、温湿度計交換)や冬季企画展の展示準備などを博物館スタッフの指導のもと体験しました。今回のインターンシップ体験について、有馬さ

んは「今回のインターンシップを通じて、文化財の大切さや歴史の深さを学びました。この経験を、来年の進路選択の際に役立てたいと思います。」と感想を述べられました。

(企画課)



インターンシップの様子

第14回大谷大学同窓会ホームカミングデー

同窓会が主催する「ホームカミングデー」が、学園祭(紫明祭)期間中の11月14日(土)に開催されました。14回目を数える今回は、名誉教授の先生方をはじめ、退職された先生や専任教員のご出席のもと、全国より同窓生やそのご家族など約190名の参加がありました。

第I部「発見! 谷大同窓生」では、博綜館第1会議室をメイン会場に、参加者が久しぶりに再会した恩師や旧友となごやかに懇談されました。懇談中、同窓生同士の新たな出会いを期待して参加型イベント「あの人を探せ!」が行われました。イベントの参加者には全国の同窓会役員ならびに各支部よりご提供いただいた特産品などが贈られ、好評を博しました。

また、毎年恒例となりました「学園祭模擬店利用券」が参加者

に配付され、模擬店の利用を通して、在学生との交流も図られました。さらに、同窓生の投票により、剣道部が模擬店優秀団体として選ばれ、翌日の後夜祭において同窓会より表彰されました。

第I部の後半では、第10回ホームカミングデーより5年連続出席された13名の同窓生に、記念品として大学オリジナルグッズが贈呈されました。

大学内で開催された第I部終了後、京都ロイヤルホテル&スパに



第I部「発見! 谷大同窓生」

会場を移し、第II部「懇親会」が開催されました。今回は「同窓生の活躍紹介」として、本学卒業生のダシュ ショバラニさんと有志の在学生によるインド舞踊を披露していただきました。その後、ダシュ ショバラニさんを囲んでの歓談が行われ、参加者一同なごやかな雰囲気の中、盛会裡に終了いたしました。

(校友センター)



第II部「懇親会」インド舞踊

西洋哲学・倫理学会 秋季公開講演会

11月19日(木)、西洋哲学学会・倫理学会主催による、秋季公開講演会が尋源館講堂にて開催されました。今回は広島大学総合科学部の古東哲明教授を招き、「哲学的問いの発端—ハイデガーの場合」という講題でお話いただきました。

古東先生は、ドイツの哲学者マルティン・ハイデガーの思索の歩みを、く世界になにも存在しないのではなく、なにかが存在することへの驚異（存在神秘的体験）からはじまり、紆余曲折をへながら

その驚きを説明しようとした物語として読み解かれました。古東先生によれば、ハイデガーはいわば地球という異星に投げ出された宇宙人のように地球の景色（存在に満ちている）に圧倒されて、いったんは地上を離れ他の世界を見ようとしますが、やがてまた地球に戻り、最後には、なにかが存在するということの圧倒的な事実——この事実から初めて神の存在も想定することができる——によって救われたひとであったのです。

講演は、活発な質疑応答を交えて盛況となりました。

(西洋哲学・倫理学会)



古東哲明広島大学教授

地域振興の祭に本学学生が協力

11月25日(水)、京都市上京区の北野天満宮の門前3商店街で風流踊りフェスティバルが開催され、本学からアメリカ民謡研究部が出演しました。

風流踊りフェスティバルは、地域の活性化を目的に今年から始まったもので、フェスティバルの名称は歌舞伎の始祖である出雲阿国が北野天満宮で踊りを興行したことや、15～16世紀に全国で踊られた「風流踊り」にちなんでいます。

当日はアメリカ民謡研究部から

バンド「ラバーズ」が出演し、大勢の観客の前で6曲披露しました。

フェスティバルに参加された脇坂高志さん（文学部第3学年）は、「今年から始まった『風流踊り』という祭で僕たちは3カ所で演奏する機会をいただきました。祭の規模や、プロの太鼓の演奏に、皆緊張とプレッシャーを感じましたが、演奏中に手拍子をいただいたり、演奏後『良かったで！』『来てくれてありがとう！』など地域の人々から温かい言葉をかけてもら

い、本当に嬉しかったです。この機会を大切にして日々の練習を頑張りたいと改めて思いました。」と語ってくれました。

(企画課)



ラバーズ

「大学報恩講並びに歴代講師謝徳法要」を厳修

11月27日(金)、今年度の「大学報恩講並びに歴代講師謝徳法要」が挙行され、来賓をはじめ学外、学内から多数参集をいただきました。

宗祖親鸞聖人の絵像と歴代講師の肖像画が掲げられた講堂において、学長の調声により『正信偈』を全員で唱和し、報恩講を厳修しました。引き続き歴代講師の謝徳法要に移り、『阿弥陀経』の読経

のなか、来賓、学生、学寮生、教職員の代表がそれぞれ焼香を行いました。また、学生6名の出仕があり、全学を挙げての法要となりました。

法要終了後は、大桑斉名誉教授により「真宗と他者—依正二報滅亡の世に—」の講題で記念講演が行われました。その後、学内食堂に会場を移して、小豆粥のお齋を

全員でいただきました。

(総務課)



大桑斉名誉教授

仏教学会公開講演会を開催

12月1日(月)、仏教学会公開講演会がメディアホールを会場として開催されました。講師に、兵庫大学の積徹宗教授を迎え、「いま、仏教にできること—グループホームの視点から—」と題してお話しいただきました。

積先生は、学内や学外から集まった約70名もの職衆を前にして、

現在は仏教が非常に面白い時代になっていることを、ご自身が実践されているグループホーム運営を通してお話しくださいました。

普段は文献を通して学んでいる仏教が、現実社会においてどのように活かし得るのかを考えさせられたひとときとなりました。

(仏教学会)



積徹宗兵庫大学教授

本学学生が高校の後輩に本学での学びを紹介

12月8日(火)、京都府立北稜高等学校の1年生約80名が、進路教育の一環として本学のキャンパスを見学されました。

今回は、博綜館第1会議室において、本学の建学の理念や歴史、学科構成、入試制度等の説明を行いました。また、北稜高等学校の卒業生で、幼児教育保育科第2学年の瀬川昂彦さんに協力いただき、幼児教育保育科での様子や、将来を考えて大学選びをおこなうことの重要性、高校生活での心構えな

ど、熱いメッセージを添えて語っていただきました。最後には、手遊び歌の実演も行ない、高校生と一緒に楽しみました。

今回、後輩の前で本学を紹介してくれた瀬川さんは、「自分も卒業生として協力できることはないかと思い参加しました。今回は全員が1年生なので、大学のことはよくわからず緊張しているだろうと思い、みんなで手遊び歌をしようと考えました。みなさんが照れながらも、笑顔と一緒に手遊び歌

をしてくれたときはうれしかったです。その笑顔を忘れずに、夢をもって歩んでほしいと思います。」と感想を述べられました。

(入学センター)



後輩に説明をおこなう瀬川さん

教育学会公開講演会を開催

12月8日(火)2301教室において、教育学会公開講演会が開催されました。今年度は、華頂短期大学の西川由紀子准教授に「子どもの思いにこころをよせて」という講題でお話しいただきました。

「自我の発達」とつい簡単にすませてしまいがちな子どもの成長ですが、実際の乳児期や1歳、2歳、3歳、4歳、5歳では、それぞれに子どもの自我が輝く瞬間の姿がユニークなものであることを、ときにユーモアを交え、ご自身の

研究・観察による具体的で豊富なエピソードを講壇上で再演したりしながら楽しくお話しくださいました。

そして、保育者・教育者になろうと願うひとは、これらの発達の順序性をよく理解した上で、目の前の子どもたちの育ちに対してしっかりと見通しのある援助の仕方を熟考することが欠かせない、と訴え、講演を終えられました。

聴衆には、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を目指す学生が多

く、終了時間が来てもなお、お話の続きを聴きたいと息を呑むような静けさでしめくられた、充実の講演会でした。

(教育学会)



西川由紀子華頂短期大学准教授

“人権問題を共に考えよう” 全学学習会を開催

12月9日(水)大谷大学講堂において、人権センター主催による「2009年度“人権問題を共に考えよう”全学学習会」が開催され、約200名の参加がありました。

今年の学習会では、日本で最初の遺品整理専門会社キーパーズ代表取締役である吉田太一氏を講師にお迎えし、「遺品が語る真実！ 気付かれない死に様から学ぶ事」と題した講演をしていただき、現代社会の抱える問題、孤立死・孤独死について考える会となりました。

講演中、吉田氏作成のDVDを上映し、ある孤立死事例における周囲の人々の行動や思いについてわかりやすく説明していただきました。氏は、孤立死現場の遺品整理をする中で、故人が生活のバランス（生活習慣、家計、健康等）を保てず、それによって社会から孤立することになったのではないかと問題提起し、「そうならない為の生き方への意識付け」が重要であると述べられました。このような社会問題解決の糸口が、日々の

生き方や人間関係の見直しにあるということのを再認識するよい機会となりました。

(人権センター)



吉田太一氏

中国文学会学術公開講演会を開催

12月18日(金)、中国文学会では恒例の学術公開講演会を開催しました。今年度は京都女子大学の愛甲弘志教授をお迎えし、本学尋源講堂にて、「中国古典詩に於ける〈詩情〉について」と題して講演をしていただきました。

愛甲先生は、中国において詩は情を言い表すものとされてきたことを説明された上で、『万葉集』などにしばしば見られる「死んでも決して二心は持つまい」というような激しい情欲の表現は、中国古

典詩のなかにはあまり見られないこと、中国の伝統的な儒教理念では、心によって情欲を規制するという意識が強かったことを指摘されました。そして六朝期まではほとんど出てこない「詩情」という詩語が、唐、特に中唐期になると多く使用されるようになるのは、中唐の頃から詩を作る意味というものが深く掘り下げられ、詩作が自らを省みる重要な営みであると認識されるようになったことと関係していると述べられました。豊

富な資料を挙げながら分かりやすくお話しくださり、講演後には質疑応答も行われました。

(中国文学会)



愛甲弘志京都女子大学教授

第24回幼教フェスティバル開催

12月20日(日)、幼児教育保育科の第24回フェスティバルが講堂において開催されました。今年度は「虹～僕ら色の夢を描こう～」というテーマで、1・2年生全員で協力し合って行いました。

午前の部は11:00から12:15まで、午後の部は13:30から15:30まで、付属園の大谷幼稚園をはじめ、実習先の幼稚園・保育園の園児たちや一般の方など、たくさんの方に見に来ていただきました。内容は、「竹取物語」「ジャックと

豆の木」「白雪姫」等、学生の創意工夫によるオペレッタを中心に、多様な発表会となりました。2年生が中心ですが、1年生も参加し、共に作り上げることができ、学生たちの感性・構想力・表現力にあふれる、息の合った発表会でした。

(幼児教育保育科)



エンディングの大合唱で

博物館特別展「祈りと造形 —韓国仏教美術の名品—」を開催

博物館では、10月13日(火)から11月28日(土)まで、特別展「祈りと造形 —韓国仏教美術の名品—」を開催しました。

本学博物館は、2007年に韓国・東國大学校博物館と交流協定を締結しておりますが、今回の特別展は、それに基づく交流事業の最初の成果として開催したものです。

展覧会では、東國大学校博物館ご所蔵の仏教美術コレクションを中心に、日本国内にのこる韓国伝来の名品および本学が所蔵する資料を前期後期で一部入れ替え展示しました。韓国仏教の生み出した仏教美術の一端を、「三国時代～

統一新羅時代」「高麗時代」「朝鮮時代」の三つの時代に区分し、絵画、彫刻、書跡などで紹介しました。東國大学校博物館ご所蔵の資料は日本で初めて公開されるものがほとんどで、来館者の興味を引いていました。加えて、東國大学校関係者はじめ、韓国からの来館者が多かったのも今回の展示の特色でした。

また、本展覧会にあわせて3回の記念講演会が開催されました。(10月13日(火)崔應天氏(東國大学校博物館長)「韓国三国時代の舍利容器について」、10月31日(土)鄭于澤氏(東國大学校大学院教授)、



鄭早苗 氏

11月14日(土)鄭早苗本学教授「古代三国と倭」)初公開の写真や、図表を多用した分かりやすい講演に、参加された多数の研究者、学生、一般の方々からも大いなる関心をもって聴講された旨感想をいただきました。

現在、博物館では冬季企画展「京都を学ぶ「The Collection of 禿庵 TOKUAN 一大谷瑩誠と京都の東洋学」」を開催中です。(会期：12月15日(火)～2010年2月13日(土))

(図書・博物館課)



崔應天 氏 (右)



鄭于澤 氏

図書館内の案内掲示をリニューアルしました

図書館ではサービス向上のための自己点検をおこない、その一環として館内の案内掲示の見直しをおこないました。

まず、増えすぎた案内掲示を役割ごとに整理して必要なものだけに厳選し、ユニバーサルデザインの考え方などを参考にした統一の

デザインに変更しました。また、書架の側面には新しく案内板を設置しました。

利用者からは「すっきりとして、よい雰囲気になった」とおおむね好評のようです。今後も継続して見直しをおこなっていく予定です。



学生選書コーナーの案内掲示

紫明祭を終えて 「全ては紫明祭の為に……。」

大谷大学学園祭実行委員会
委員長 村上 帰命



今年も無事に2009年度大谷大学学園祭「紫明祭」が終わりました。みなさん今年の紫明祭はどうだったでしょうか。

「紫明祭」は私たち学園祭実行委員会が1年間かけて作り上げてきましたが、本当にあつという間に終わってしまったという感じです。長いようでとても短く、とても濃い時間を過ごすことができました。サンクンガーデンからステージがなくなってしまったのを見ると、とても寂しく、2カ月経った今でも虚無感のような学園祭気分が抜けません。自分が委員長になってみると、委員長の仕事は想像以上に考えなければならぬことが多く、また、実行委員31人を1つの目標に向けてまとめていくということなどもとても大変でした。人の上に立つということの難しさを改めて感じさせられました。しかし、大変なことばかりでなく、委員長を務めたことで色々な方と出会うことができました。学園祭は終了しましたが、私はこの出会いを大切にしていきたいと思っています。

今年のテーマ「一祭合祭」には、前号でも書いていますが、1つ1つの「祭」である色々なイベントが重なり合い、1つの素晴らしい「紫明祭」になって欲しいということや、また、人間関係が希薄になりつつある現代社会において、学園祭に関わる全ての人の心が1つになり盛り上がりて欲しいという願いがこめられています。今年も昨年同様、プロアーティストの完全無料ライブを行い、一昨年の参加型イベントを復活させました。学園祭のすべての企画にとってもたくさんの方が来場してくださり、企画だけでなく展示教室や模擬店などでも多くの方の笑顔に出会うことができ、テーマである「一祭合祭」が実現できたと思っています。来年に向けての改善点や反省点などはもちろんありますが、2009年度大谷大学紫明祭「一祭合祭」は、大成功だったのではないかと思います。私自身、紫明祭を

思う存分楽しませていただきましたし、本当に忘れることのできない紫明祭でした。3日間を通して天気予報では雨の予報でしたが、当日ほとんど雨が降るどころか晴天に恵まれ、最高の学園祭日和でした。

今年の紫明祭が成功したのも、私たち学園祭実行委員の力だけではありません。学園祭に協力して下さった部員さん、団体のみなさん、地域の皆さん、そして、学園祭をスムーズに進行できるように協力して下さった学校関係のみなさん、学園祭に関わる全ての方の協力により今年の紫明祭が成功したのだと、心より感謝しております。紫明祭は今年で終わるわけではなく来年も再来年も続きますが、私個人の意見として、もっと大谷大学らしさを学園祭でだしてもいいかなと思いました。たとえば宗教シンポジウムを復活させるとか……。そのようなことを踏まえ、後輩たちが来年の紫明祭も大いに盛り上げてくれると思うので、ご協力よろしくお願いいたします。

みなさん、本当にありがとうございました。

合掌





2009年度 課外活動秋季大会結果 —団体成績—

クラブ名	日 程	対戦校	結 果	会 場
卓球部 (男子) 関西学生卓球秋季リーグ戦 IV部Bブロック2位	9月 5日 (土)	京都府立大学	○ 3 - 2	京都府立体育館
		大阪学院大学	○ 3 - 0	〃
	9月 9日 (水)	追手門学院大学	○ 3 - 1	尼崎市記念体育館
	9月10日 (木)	大阪府立大学	● 1 - 3	〃
	9月11日 (金)	聖トマス大学	○ 3 - 1	〃
卓球部 (女子) 関西学生卓球秋季リーグ戦 IV部3位	9月 5日 (土)	滋賀県立大学	○ 3 - 2	京都府立体育館
		京都府立大学	○ 3 - 2	〃
	9月 7日 (月)	京都大学	○ 3 - 1	〃
	9月10日 (木)	甲南大学	● 1 - 3	尼崎市記念体育館
	9月11日 (金)	奈良教育大学	● 1 - 3	〃
	9月12日 (土)	滋賀大学	● 1 - 3	〃
空手道部 全関西大学空手道選手権大会 II部2回戦敗退	10月12日 (月)	大阪学院大学	● 1 - 4	大阪商業大学総合体育館
硬式野球部 京滋大学野球秋季リーグ戦 I部3位	9月 2日 (水)	佛教大学	● 2 - 5	草津グリーンスタジアム
	9月 3日 (木)	〃	● 0 - 10	〃
	9月 9日 (水)	京都学園大学	● 5 - 6	〃
	9月10日 (木)	〃	● 5 - 7	〃
	9月16日 (水)	花園大学	● 0 - 3	太陽が丘球場
	9月17日 (木)	〃	● 5 - 9	〃
	10月 3日 (土)	京都教育大学	○ 6 - 5	京都学園大学グラウンド
	10月 4日 (日)	〃	○ 6 - 4	〃
	10月16日 (金)	びわこ成蹊スポーツ大学	○ 10 - 3	わかさスタジアム京都
		10月17日 (土)	〃	○ 2 - 0
サッカー部 関西学生サッカー前期リーグ戦 III部Bブロック2位	4月26日 (日)	近畿医療福祉大学	○ 7 - 0	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
	4月29日 (水)	帝塚山大学	○ 16 - 0	〃
	5月 2日 (土)	流通科学大学	○ 5 - 1	流通科学大学グラウンド
	5月10日 (日)	大阪府立大学	○ 3 - 0	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
	5月17日 (日)	聖トマス大学	○ 10 - 0	聖トマス大学グラウンド
	5月31日 (日)	滋賀県立大学	○ 6 - 1	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
	6月14日 (日)	京都工芸繊維大学	○ 2 - 1	京都工芸繊維大学グラウンド
	6月21日 (日)	大阪経済法科大学	○ 5 - 0	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
	6月28日 (日)	滋賀大学教育学部	△ 2 - 2	滋賀大学教育学部グラウンド
	7月 5日 (日)	大阪大学	● 0 - 2	大阪大学グラウンド
関西学生サッカー後期リーグ戦 III部Aブロック2位	9月13日 (日)	帝塚山大学	○ 9 - 1	聖トマス大学グラウンド
	9月23日 (水)	流通科学大学	○ 5 - 2	流通科学大学グラウンド
	9月27日 (日)	聖トマス大学	○ 10 - 0	聖トマス大学グラウンド
	10月 4日 (日)	近畿医療福祉大学	○ 6 - 0	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
	10月11日 (日)	滋賀県立大学	○ 8 - 0	神戸市外国語大学グラウンド
	10月18日 (日)	京都工芸繊維大学	○ 7 - 2	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
	10月25日 (日)	大阪府立大学	● 1 - 2	〃
	11月 1日 (日)	滋賀大学教育学部	○ 4 - 1	〃
	11月 8日 (日)	大阪経済法科大学	○ 3 - 0	聖トマス大学グラウンド
	11月15日 (日)	大阪大学	● 1 - 2	大谷大学湖西キャンパスグラウンド
第87回関西学生サッカーリーグ II-III部入替戦	12月20日 (日)	摂南大学	● 1 - 3	摂南大学寝屋川キャンパスグラウンド
剣道部 (男子) 全日本仏教系大学剣道大会 予選リーグ敗退	10月12日 (月)	龍谷大学	● 0 - 6	淑徳大学体育館
		東洋大学	● 0 - 6	〃
		花園大学	● 2 - 4	〃
剣道部 (女子) 全日本仏教系大学剣道大会 予選リーグ敗退	10月12日 (月)	龍谷大学	● 0 - 5	淑徳大学体育館
		東洋大学	● 0 - 5	〃
バスケットボール部 (男子) 関西学生バスケットボール秋季リーグ戦 V部Bランク 6位 (V部B残留)	8月29日 (土)	京都学園大学	● 71 - 88	京都精華大学
	8月30日 (日)	神戸芸術工科大学	● 63 - 93	〃
	9月12日 (土)	滋賀県立大学	● 89 - 97	大谷大学体育館
	9月13日 (日)	京都橘大学	● 100 - 111	〃
	9月21日 (月)	神戸市外国語大学	● 68 - 74	京都学園大学
	9月22日 (火)	大阪人間科学大学	● 92 - 101	〃
	9月23日 (水)	芦屋大学	○ 不戦勝	はびきのコロセアム
	9月26日 (土)	神戸芸術工科大学	● 78 - 86	精華大学
	9月27日 (日)	芦屋大学	○ 不戦勝	〃
	10月 3日 (土)	滋賀県立大学	○ 84 - 82	京都府立体育館
バスケットボール部 (女子) 関西女子学生バスケットボール秋季リーグ戦 III部Cブロック 1次リーグ敗退	8月14日 (金)	甲南女子大学	○ 113 - 18	桃山学院大学
	8月15日 (土)	神戸学院大学	○ 74 - 68	〃
	8月18日 (火)	大阪市立大学	○ 98 - 75	〃
	8月20日 (木)	大阪産業大学	○ 90 - 71	京都精華大学
	8月21日 (金)	大阪大学外国語学部	● 40 - 77	〃
	8月24日 (月)	京都産業大学	● 55 - 83	大阪大学吹田キャンパス

クラブ名	日程	対戦校	結果	会場
	8月26日(水)	滋賀大学	● 61 - 95	大阪芸術大学
	8月27日(木)	大阪芸術大学	○ 87 - 55	〃
ソフトテニス部(男子) 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦 V部Cブロック4位(V部D降格)	9月22日(火)	京都教育大学 帝塚山大学 四天王寺大学	● 0 - 5 ● 2 - 3 ○ 3 - 2	四天王寺大学 〃 〃
バドミントン部(男子) 関西学生バドミントン秋季リーグ戦 VI部Cブロック1位	9月17日(木)	関西外国語大学国際言語学部 大手前大学	○ 5 - 0 ○ 5 - 0	大谷大学体育館 〃
	9月26日(土)	関西福祉科学大学 兵庫教育大学	○ 4 - 1 ○ 4 - 1	〃 〃
	10月3日(土)	帝塚山学院大学	○ 4 - 1	〃
VI部校優勝決定リーグ 敗退 VI部残留	10月26日(月)	京都学園大学	● 1 - 3	大阪市立東淀川体育館
アメリカンフットボール部 関西アメリカンフットボール秋季リーグ戦 III部Cブロック4位	9月20日(日)	京都薬科大学	○ 27 - 10	宝ヶ池球技場
	10月4日(日)	京都府立大学	● 0 - 42	〃
	10月17日(土)	京都学園大学	● 19 - 37	EXPO FLASH FIELD
	11月3日(火)	京都外国語大学	● 17 - 19	〃

2009年度 課外活動秋季大会結果 ー個人成績ー

●硬式野球部

〈京滋大学野球連盟秋季リーグ戦〉

於 草津グリーンスタジアム 他
ベストナイン

- ・捕手 藤川 圭市
(文学部仏教学科 第4学年)
- ・外野手 加藤 健太
(文学部哲学科 第4学年)

●陸上競技部

〈関西学生陸上競技学年別選手権大会

兼 関西学生混成選手権大会〉

於 長居第2陸上競技場

男子競歩10000m

- ・第4位 西村 慈生
(文学部社会学科 第3学年)

●男子バスケットボール部

〈関西学生バスケットボール秋季リーグ戦〉

於 京都精華大学 他

- ・得点王 (P.Average 34.5)
奥野 一平
(文学部社会学科 第4学年)

●跆拳道部

〈リンクステコンドーフェスティバル〉

於 大阪府立千里体育館(8月9日)

男子一般 中級ウェルター以上合同級

- ・準優勝 吉田 広輝
(文学部社会学科 第4学年)

〈全日本テコンドー選手権大会 西日本地区大会〉

於 大阪産業大学(9月20日)

男子一般 80キロ以下級

- ・優勝 吉田 広輝
(文学部社会学科 第4学年)

〈Reiz Taekwondo CUP TOURNAMENT〉

於 大阪市立北中道小学校(9月21日)

男子一般 初級58キロ以下級

- ・準優勝 中村 広紀
(文学部仏教学科 第1学年)

課外活動 イベント情報



課外活動の 活動予定



団体名	イベント名	日程	開催時間
	会場	備考	
サッカー部	2010年第60回京都学生サッカー選手権大会	3月7日(日)~28日(日)	未定
	大谷大学湖西キャンパスグラウンド他	http://www.eonet.ne.jp/~otani-univ/	
落語研究会	第7回全日本学生落語選手権 策伝大会	2月27日(出予選、 2月28日(日)決勝	
	長良川国際会議場	http://www.sakuden.jp	
	第12回あばん亭学生お笑い寄席&すまいの文化祭	2月21日(日)	開場13:00、 開演14:00
	京都市アバンティホール	http://fine.ap.teacup.com/warainogakkou/	
	引退寄席	2月(予定)	未定
	大谷大学多目的ホール	上記HP(大谷落研ブログ)ご参照ください。	
	第3回ほうとく寄席	未定	開場13:00、 開演14:00
	鳳徳会館(京都市北区紫竹高縄町1)	上記HP(大谷落研ブログ)ご参照ください。	
	第4回岸和田岡山寄席	未定	未定
	山直市民センター(大阪府岸和田市三田町715-1)	上記HP(大谷落研ブログ)ご参照ください。	

幼教 フェスティバル より



ジャックと豆の木



竹取物語



白雪姫

学問のしおり

私が大学で英文学を専攻しようと思った理由はただ単に英語が好きだったということに尽きる。私が通った中学・高校が英語教育に力を入れており、中学1年生の時からネイティブの先生の授業も含めて週7時間の英語の授業を受けるという恵まれた環境だったこともあるが、学校外で、6年間、英語を教えてもらった中條喜代先生から受けた影響が大きい。先生は、明治生まれの才媛で、東京女子大学を卒業され、交換留学生としてアメリカにも留学された。先生の英語教育にける情熱に応えようと必死で勉強したお蔭で、今につながる英語の基礎力が身についたと思う。

とは言っても英語で文学作品を読むとなると、そう簡単には行かない。大学では、最初、辞書を引きながら英語の文章を予習するのに1ページ当たり一時間半かかったのを覚えている。また、辞書を引かずに読もうとすると2・3ページ全く意味がつかめないこともしばしばだった。しかし、不思議なことに辛抱強く読み続けているとまた話がつながってくる。そうしている内に少しずつ読めるようになって

いったのだろう。卒業論文では、19世紀のイギリス女流作家ジョージ・エリオットの『ミドルマーチ』を選んだ。今から思えば、それがその後の私の英文学研究の第一歩となった。

大学院に進学後、すぐにイギリスに一年間留学したことも私の人生にとって海外へと目を向ける大きなきっかけとなった。それまでは文学作品を通して想像するしかなかったイギリスの自然や町の風景、そして何よりもそこに住んでいる人々に直に接することで、こうした環境からイギリスの詩や小説が生まれたのだと納得させられる部分があり、さらに、大学で指導していただいた先生方やその後何十年と交流が続くことになる人々との出会いがあった。イギリスは第二の祖国と感じられる程、イギリス大好き人間へと変身した。

19世紀のイギリスは「小説の世紀」と言われ、ディケンズ、ブロンテ姉妹、ギャスケル夫人、ジョージ・エリオット、ハーディなど、多くの優れた小説家を輩出した時代である。

産業革命はイギリスに未曾有の物質的繁栄をもた



—英語・英文学とともに—

村瀬 順子

らす一方で、社会的弱者を生み、貧富の差や都市のスラム化、道徳的腐敗といった社会問題を生じさせたが、彼らはそうした社会の偽善や矛盾を暴きだし、その中で人はいかに生きるべきかという倫理的問題を小説の中で追求した。読みたい作品、読むべき作品は山ほどあり、これまでにその何分の一を読破したかを考えると心もとないが、作品の読み方に関しては、この数十年の間にずいぶんと変化してきたと思う。若い頃は、作品をごく身近に自分の人生と重ねながら読んでいたため、主人公の生き方やものの考え方から人生における大きな示唆を得たこともあった。その後、在外研究で行ったアメリカの大学では、批評理論の全盛期であったため、構造主義、ポスト構造主義、テキスト批評、脱構築、フェミニズム批評、精神分析批評等々の洗礼を受けた。もはや、単純素朴にテキストを読むことはできない。作品に組み込まれた政治性・時代性を抜きにして文学作品を語れないのみならず、ことばが意味を成すしくみそのものの中にも様々な力学が働いている。以来、18世紀のサミュエル・リチャードソンや19世紀のシ

ャーロット・ブロンテやジョージ・エリオットを中心に「ことばと力」「女性と狂気」「非ヨーロッパの表象」をテーマとして、イギリス小説の研究を行ってきた。

現在、関心のあるテーマは「漱石と英文学」である。西洋の小説は、心理描写・情景描写の細やかさによって読者を魅了し感動させるが、その一方で、ことばの過剰・氾濫に陥りかねない。英米の文学に精通していた漱石は、そこから様々な小説技法を学び応用しながらも、作品においては饒舌に語ることをよりもむしろ沈黙や空白によって、より多くのことを示唆する書き方をしている。それは、私たちの日常の言語習慣にも通じる日本的な表現方法であり、外国文学を研究してきたからこそ自国の文学についてより明確に見えてくるものがあるのではないかと考えている。

(むらせ よりこ
教授 英文学・英米文化)

年度末・年度始めの日程

2009年度末

後期試験

1月21日(木)～2月1日(月)

2010年度始め

オリエンテーション開始

3月30日(火)

前期授業開始

4月6日(火)

聴講登録票提出期間

4月12日(月)～14日(水)

在学生の皆さんへ

2010年度より授業時間帯が変わります。

4号館・5号館の竣工に伴う東西のキャンパスへの移動時間を考慮して、来年度(2010年度)の4月1日より昼休み時間並びに授業時間帯が変更になります。昼休み時間を10分延長し、3時限以降の時間帯も合わせて変更をすることになりますのでご注意ください。

現 行

	時 間
I	9:00～10:30
II	10:40～12:10
	昼休み (40分)
III	12:50～14:20
IV	14:30～16:00
V	16:10～17:40
VI	17:50～19:20
VII	19:30～21:00



変更後

	時 間
I	9:00～10:30
II	10:40～12:10
	昼休み (50分)
III	13:00～14:30
IV	14:40～16:10
V	16:20～17:50
VI	18:00～19:30
VII	19:40～21:10 (廃止)

教 務 課

修士論文・卒業論文の口述試問の日程

2009年度提出の修士論文・卒業論文について、口述試問を次のとおり実施します。日程発表日に教務課掲示板で時間等をお知らせしますので、各自確認のうえ口述試問を受けてください。

	日程発表日	試問期間
修士論文	1月8日(金)	1月13日(水)～2月5日(金)
卒業論文	1月20日(水)	1月21日(木)～2月5日(金)

後期定期試験について

今年度後期試験は、1月21日(木)から2月1日(月)までの期間に実施します。試験方法、時間割等詳細は、1月7日(木)に教務課掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表します。

後期追試験について

病気・不慮の事故等の事由で後期試験を受けられなかった場合、次のとおり追試験を実施します。(詳細は『履修要項』で確認してください。)

1. 出願期間

当該科目試験日から1週間以内。ただし、試験日によっては出願の締切りが変更になります。

詳しい日程は、教務課掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表します。

2. 追試験日

2月16日(火)・17日(水) (レポート提出締切日は2月16日(火)です。)

真宗大谷派教師修練・補任式について

後期修練（文学部第4学年・短期
大学部第2学年主対象）
第1班 2月3日(水)～2月9日(火)
第2班 2月13日(土)～2月19日(金)
第3班 2月23日(火)～3月1日(月)
第4班 3月3日(水)～3月9日(火)
第5班 3月10日(水)～3月16日(火)

前期修練
（短期大学部第1学年主対象）
3月23日(火)～3月29日(月)

教師補任式（全学合同）
3月19日(金)に挙行されます。式
の時間等詳細は2月26日(金)に教務
課掲示板にてお知らせします。

修了・卒業予定者氏名、並びに諸資格（教職・保育士・大谷派教師・学芸員・ 図書館司書・社会福祉士）単位修得合否の発表について

2月26日(金)午前10時に教務課掲
示板にて発表します。卒業・修了
予定者については大学ホームペー

ジ「学生向け情報提供システム」
にも掲載します。各自確認してく
ださい。

なお、電話等での問い合わせに
は応じられませんのでご了承ください。

文学部の進級者の発表について

3月12日(金)午前10時に教務課掲
示板及び大学ホームページ「学生
向け情報提供システム」にて発表
しますので各自確認してください。
なお、電話等での問い合わせに
は応じられませんのでご了承ください。

今年度卒業・修了予定者の証明書の発行について

今年度卒業・修了予定者で、卒
業式当日に卒業証明書・成績証明
書（後期の成績を含むもの）・資
格取得証明書が必要な場合は、次
の期間に申込みをしてください。
2月26日(金)～3月15日(月)

卒業式当日、卒業証書・学位記
等とともにお渡しします。
※この期間後の申込みについては、
卒業式の翌日以降の発行になり
ます。

年度末の証明書発行について

3月23日(火)～3月31日(水)の期間
は学年切替作業のため証明書自動
発行機は使用できません。必要な
証明書は、各自であらかじめ準備
しておいてください。

科目等履修生・聴講生制度について

卒業後も開講科目を受講するこ
とのできる「科目等履修生・聴講
生」制度を実施しています。
在学中に資格課程の単位を未修
得のまま卒業した場合等は、この
制度によって必要な科目を履修す
ることができます。

ただし、資格課程を履修希望の
場合、出願資格・受講可能科目等
に条件がありますので、早めに教
務課窓口にて相談してください。
出願書類配付 2月下旬（予定）
出願期間 3月23日(火)～4月1日(木)

「小学校教諭一種免許状取得プログラム」出願書類配付及び出願説明会について

2007年度より神戸親和女子大学
との協定による「小学校教諭一種
免許状取得プログラム」をスター
トしました。
このプログラムは、出願者の中
から学内選考により履修許可者を
決定するものです。次年度、本プ
ログラム出願希望者は、「出願書
類配付および出願説明会」を開催

しますので、必ず参加してくださ
い。
なお、本プログラムは、中学校
教諭一種免許状取得を前提とした
ものであり、小学校教諭一種免許
状のみの取得はできませんのでご
留意ください。
また、本学学費とは別に神戸親
和女子大学通信教育部における科

目等履修にかかる費用が必要とな
ります。
※詳細は、神戸親和女子大通信教
育課程掲示板（4号館1階）及
び本学ホームページ「学生向け
情報提供システム」を各自、確
認して下さい。

学生支援課

今年度卒業・修了予定のみなさんへ

学生証の返還について

3月18日(木)に卒業・修了のみなさんは、卒業式・学位記授与式当日に学生証を返還してください。

※学生証の有効期限は3月31日(水)までです。学割などを使用する場合は、後日返還(郵送可)してください。

卒業・修了証明書について

卒業式・学位記授与式当日に、卒業・修了生全員に卒業・修了証明書1通を証書とともに配付します(事前申込不要)。ただし2通以上必要な場合は、教務課の「今年度卒業・修了予定者の証明書の発行について」を参照の上、受付期間内に申込みをしてください。

在学生のみなさんへ

2010年度オリエンテーションについて

新年度オリエンテーションは、**3月30日(火)～4月5日(月)**に実施の予定です。入学式(4月1日)前から始まりますので注意してください(4月3日(土)も実施します)。詳細な日程は、3月中旬に保証人宛に郵送するほか、学内掲示板及び大学ホームページ、「学生向け情報提供システム」でお知らせします。

学生証の更新について

新年度オリエンテーション期間中に「在籍確認シール」を配付します。受け取り後、必要事項を記入し学生証裏面のシールを貼り替えて、有効期限を更新してください。新年度のシールが貼付されていない学生証は無効となり、通学定期券を購入できないなどの不利益を被る場合があります。注意してください(重ねて貼ると機械トラブルの元となります)。

住所(帰省先・下宿住所)・電話番号等の変更は、速やかに届出を

保証人住所(帰省先など)・現住所(下宿住所)・電話番号(携帯電話)などに変更が生じた場合は、速やかに学生支援課で「学籍事項登録票(変更)」を受け取り、修正手続きをしてください。修正されていない場合、大学から重要かつ緊急の連絡ができず、トラブルの原因となりますので注意してください。

海外渡航についての注意

海外へ渡航する場合には、「学生渡航届」の提出が必要で
す。指導教員の了承を得たうえで、必ず学生支援課へ提出
してください。「学生渡航届」提出者に対し、本学より緊急
時に連絡することがあります。

近年、海外では、感染症、地震・台風等の自然災害、戦
争・紛争等の不測の事態に巻き込まれる危険が増大してい
ます。場合によっては、渡航の自粛も検討してください。
渡航にあたっては、下記のホームページにて、渡航先の衛
生状態・治安状況等を調査し、情報をこまめにチェックし
たうえで慎重に計画を立ててください。

また、利用する旅行会社・航空会社について信頼できる会
社であるか、緊急連絡体制は万全であるか等を確認し、自分
自身を守るため海外旅行傷害保険に必ず加入してください。

海外渡航に関する情報は、GLOBAL SQUAREでも提供
しています。利用してください。

〈厚生労働省検疫所ホームページ〉

(海外渡航者のための感染症情報) <http://www.forth.go.jp/>

〈外務省海外安全ホームページ〉

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

帰国後、体調に変化がある場合は、最寄りの保健所に相
談後、大学へ連絡してください。

本学連絡先 075-411-8120(保健室)

※新型インフルエンザに関しては、「新型インフルエンザに
注意!」の項目を熟読してください。

新型インフルエンザに注意!

冬を迎え、新型インフルエンザは季節性インフルエンザ
とともに、さらに流行することが予測されます。

各自で体調管理には十分注意し、人混みを避けるなど、
感染予防に努めてください。クラブ・サークルの試合や合
宿等がある場合、発熱などの症状が少しでもみられた時は、
感染拡大防止のため参加を自粛してください。

発熱や咳など、体調不良があった場合、登校を控え、早
急に最寄りの医療機関に連絡の上、受診してください。な
お、インフルエンザと診断された場合は、至急学生支援課
もしくは保健室に連絡してください。

新型インフルエンザに関する最新情報に注意を払ったう
え、本学の対応については、大学ホームページ・学生向け
情報提供システム等で随時確認してください。

〈厚生労働省ホームページ〉

(新型インフルエンザ対策関連情報)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansen/shou04/index.html>

本学連絡先 075-411-8119(学生支援課)

075-411-8120(保健室)

校友センター

卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会のご案内

来る3月18日(木)、本学を卒業・修了され、新たに同窓会員となられる皆さまを対象に、大谷大学・大谷大学短期大学部と大谷大学同窓会が共催して、「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」を開催いたします。今年度は、京都ホテルオークラを会場に開催を予定しています。

当日は教職員も出席し、サークルによるアトラクションの企画も用意して、楽しい会となるように計画しています。

卒業証書・学位記授与式にご出席の父母兄弟の皆さまもお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。



昨年の祝賀会風景

■日時 3月18日(木)

16:30~18:30

* 卒業証書・学位記授与式終了後

■会場 京都ホテルオークラ

[交通機関]

地下鉄烏丸線「烏丸御池」下車

[乗換] 地下鉄東西線「京都市役所前」下車すぐ

■立食パーティー形式

* 「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」の案内状は卒業・修了通知書とともにお届けいたします。

なお、当日は各自で直接会場にご集合ください。

<お願い> 会場内は禁煙とさせていただきます。また、在学生の参加はご遠慮ください。

図書館

春期長期貸出について

次のとおり、貸出期間の延長をおこないます。どうぞご利用ください。ただし、指定図書は対象外となりますので、ご注意ください。

■**手続期間** 1月28日(木)~3月23日(火)

■**返却期限** 3月31日(水)

年度末の開館予定について

2010年1月6日(水)からの図書館の開館予定は次のとおりです。

月 日		開館予定
1月6日(水)	■特別開館	10:00-17:30
1月7日(木)	■通常開館	(月)~(金) 9:00-19:30
1月9日(土)		(土) 10:00-17:30
1月10日(日)	■特別開館	10:00-17:30
1月11日(祝)		
1月12日(火)	■通常開館	9:00-19:30
1月13日(水)		※1/13(水)は冬期長期貸出返却期限日
1月14日(木)	■延長開館	(月)~(金) 9:00-20:00
1月28日(木)		(土) 10:00-17:30 (日) 休館
1月29日(金)	■通常開館	(月)~(金) 9:00-19:30
2月1日(月)		(土) 10:00-17:30 (日) 休館

月 日		開館予定
2月2日(火)	■短縮開館	(月)~(金) 10:00-17:30
2月21日(日)		(土・日・祝) 休館 ※2/7(日)~2/10(水)は一般入試 [第1期] のため休館
2月22日(月)	■休館	館内整理のため休館
2月26日(金)		
2月27日(土)	■短縮開館	(月)~(金) 10:00-17:30
3月29日(月)		(土・日・祝) 休館 ※3/9(火)は一般入試 [第2期] のため休館 (予定) ※3/18(木)は卒業証書・学位記授与式のため休館
3月30日(火)	■短縮開館	9:00-18:00
3月31日(水)		※3/31(水)は最終返却期限日

※変更になる場合は、館内掲示や大学ホームページでお知らせします。

総務課

卒業証書並びに学位記授与式について

2009年度卒業証書並びに学位記授与式を次のとおり挙行いたします。

日程：2010年3月18日(木)

		第1部	第2部	第3部	真宗大谷派教師資格取得 コース履修生修了証書授与式
対象専攻・学科		大学院：真宗学・仏教学 哲学・社会学 文学部：真宗学科・仏教学科 哲学科・社会学科	大学院：仏教文化・国際文化 文学部：史学科・文学科 国際文化学科 人文情報学科	短期大学部：仏教科・文化学科 幼児教育保育科	真宗大谷派教師 資格取得コース履修生
卒業証書・ 学位記授与式	時間	9時30分	11時15分	13時00分	14時30分
	場所	講堂	講堂	講堂	尋源講堂
学位記・証書・ 履修単位通知書等配付	時間	10時30分	12時15分	13時50分	
	場所	1号館(詳細は後日)	1号館(詳細は後日)	2号館(詳細は後日)	

※証書等の配付方法について

講堂での式典終了後、引き続き各学科ごとに教室に分かれ、証書等を各学科の代表の先生より卒業生の皆さん1人ずつにお渡しいたします。

※お願い

卒業予定者の皆さんへ：

講堂での式典終了後、各学科ごとに指定された教室へ速やかに移動してください。式典のスムーズな進行にご協力ください。

在学生の皆さんへ：

講堂での式典終了後、卒業生の方々に証書等の配付をすぐに行いますので卒業生の移動、式典等のスムーズな進行にご協力をお願いします。

財務課

2010年度 前期学生納付金(学費)の納入について 納入期限は4月20日(火)―締切日厳守―です。

前期学生納付金の納入期限は4月20日(火)〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に2010年4月1日に大学より一斉発送します。保証人住所、現住所、電話番号など、学籍事項に変更があった場合は必ず学生支援課に「学籍事項登録票(変更)」を提出してください。また、振込依頼書が届かない場合、または紛失、破損した場合には再発行しますので、財務課まで申し出てください。

なお、事情により期限内納入が困難と予測される場合には、必ず納入期限までに、学生支援課に相談し、学費延納の手続きをしてください。

手続きには「学費延納許可願」(所定用紙)および学生納付金負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

○2007年1月4日から、「本人確認手続に関する法令」の改正により、金融機関において10万円を超える現金の振込みを行う場合には、本人確認書類の提示が必要となりました。(ATMでは、

10万円を超える現金の振込みができません。ただし、現金ではなく預金口座を通じて振込みを行う場合は、ATM・窓口のいずれにおいても、これまでと同様の手順・方法で振込むことができます。)

○学費納入の際には、指定の振込用紙とともに、振込みの手続きを行う方の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポートなど)をご用意のうえ、金融機関の窓口をご利用ください。

2010年度前期学生納付金一覧		学 費		その他の費用			合 計 額
		授 業 料	施 設 費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	
文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、 歴史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	591,000
	教育・心理学科	430,000	110,000	1,000	2,500	15,000	558,500
短期大学部	仏教科文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	幼児教育保育科	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000
大 学 院	博士後期課程 (2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000	316,000
	修士・博士後期課程 (2005年度以前入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000	356,000

キャリアセンター

キャリアセンターは、就職や進学など、進路全般についての相談窓口です。相談や質問があれば、学年を問わず、キャリアセンターに来てください。

また、キャリアセンターでは以下のガイダンスなどを企画しています。詳細は、キャリアセンターから発送されるDMや掲示、学生向け情報提供システムなどで確認してください。

就職直前ガイダンス&ビジネスマナー講座（実践編）

就職活動中の授業の欠席の取り扱いや、諸注意などについて説明します。ビジネスマナー講座では、これから本格化する就職活動に向けて、面接マナーなど実践を通して確認します。

対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 程：1月13日(水) 16時10分～19時20分
会 場：講堂

*就職直前ガイダンスでは「就職のてびき」を使用します。ビジネスマナー講座はスーツを着て出席してください。

就活チェックポイントセミナー

就職活動スタートに向けて、重要なポイントを押え直しましょう。

講 師：人材コンサルタント 櫻井照士氏
対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 程：1月30日(土) 13時00分～16時00分
会 場：講堂

学内合同企業説明会

学内で開催される合同企業説明会で、3日間にわたり約60社の企業が参加します。これまで多くの学生が、この説明会により内定へと繋がっています。実践的な就職活動の始まりともいえる「学内合同企業説明会」に、ぜひ参加してください。

対 象：2011年3月卒業・修了予定者
日 程：2月22日(月)・23日(火)・24日(水)
12時～16時40分

会 場：1号館教室

*詳細は、キャリアセンターの掲示板・学生向け情報提供システムにて確認してください。参加企業は1月中旬に発表します。

教員養成講座 ③

教職アドバイザー 長谷川 浩三

教員の実践力

皆さんは、これまでに「指導力不足教員」という言葉を何度か聞いたことがありますね。教員にとっての「指導力」とは具体的には、①教科指導能力、②生徒指導能力、③学級経営能力、④保護者・地域等との連携能力、が挙げられます。このような能力を実践の指導力というのだと前号までに述べました。今回は、その中身をもう少し掘り下げて考えてみようと思います。

1. 教育理念追求力

基底にあって力量を支えるのは教育についての理念や教員としての使命感です。何といても、教員は理想を追求する信念や意欲を持っていなければなりません。明日の社会を明るく住みやすいものにするためにも、理想の実現へ向かう行動が求められます。

2. 基礎的実践力

自立した教師として教育実践を可

能にする基礎的力量で、授業の実践力ばかりでなく学級経営や校務分掌など、他の先生と一致協力して教育を進めていく力が必要です。一人の力で学校を支えるのは不可能です。

3. 熟達の実践力

熟達した教師が持つ力量で、経験を積み研修等を経て達成される高度な実践力は疎かにできないものです。

4. 研究的実践力

日々の教育実践を経験的な面だけでなく理論的にも見詰め直し、確かな根拠に基づいて改善していく実践的研究が求められます。机上の空論ではなく、あくまでも実践に裏打ちされた研究が必要です。

5. 専門教科研究力

授業で扱われる内容等に関する専門的研究力です。学校や教育をめぐる問題、例えば、学級崩壊、いじめ、不登校、モンスターペアレント、指

導力不足、等々社会的に多くの関心を引き起こしてきました。その対処として、スクールリーダーシップへの希求、学校のアカウントビリティの増大等々が叫ばれてきました。こういったことは、直接、間接の違いはあっても、教師の授業力の問題に深く関わっているのは否定できません。授業力の向上は、常に問い直される基本的な課題で、授業力の向上は、以前にも増して解決を迫られる喫緊の課題になっています。

教員志望の皆さん、今からできることはたくさんあります。大学での授業、部活動・サークル活動で継続的に頑張るだけでなく、ボランティア活動、インターンシップ・教師塾参加等、積極的な行動を起こしましょう。

(完)

GLOBAL SQUARE

GLOBAL SQUAREでは、留学相談や留学情報の提供、語学勉強会、留学生との交流イベントなどを実施しています。各種イベントなどの詳細は、ホームページやGLOBAL SQUARE掲示板で確認してください。

URL <http://www.otani.ac.jp/kouryu/index.html>

■留学出発前オリエンテーション

2010年度前期の留学予定者を対象に留学出発前オリエンテーションを開催します。長期間外国での生活を始める準備と対策を十分に、実りのある留学を実現させましょう。

日 時：2010年1月（予定）

*詳細は掲示・ホームページにてお知らせします。

場 所：GLOBAL SQUARE

内 容：◎入国の際の注意点

◎留学先到着後の手続

◎留学中の安全対策

◎帰国後の手続

■学生スタッフ募集

GLOBAL SQUAREイベントの企画・実施や留学生のサポートなどをする学生スタッフを募集しています。国際交流や留学生との交流に興味のある人は、ぜひ参加してください。

■2月・3月の開室時間について

2月2日(火)～3月29日(月)は、開室時間を短縮し、12:30～17:00となります。3月30日(火)より平常開室いたします。

*詳細、変更（臨時閉室）は掲示・ホームページにてお知らせします。

2010年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部および短期大学部の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。

2010年度の文学部と短期大学部の授業料のスライド率は、2009年度と同様0.00%とし、授業料については教育・心理学科は860,000円、その他の学科は795,000円のまま据置きとします。また、施設費も2009年度と同様、文学部真宗学科、仏教学科、哲学科、社会学科、歴史学科、文学科、国際文化学科および短期大学部仏教科、文化学科は200,000円、文学部人文情報学科は350,000円、教育・心理学科および短期大学部幼児教育保育科は220,000円とします。また、大学院の授業料も2009年度の額480,000円のまま据置きとし、施設費も2009年度と同様、2006年4月以降の入学者は200,000円、2006年3月以前の入学者は120,000円とします。

本学では、学生の皆さんの学費を有効に利用し、教育研究の充実と学生生活、就職活動支援などのために様々な事業を実施しています。

2009年度後期から4号館・5号館の使用を開始しました。それともなっていて、今まで至誠館にあった教職支援センターを4号館に移転し、教職課程の履修相談や学校へのインターンシップや学校ボランティアなど教職に関する業務を行い、教職をめざす学生の皆さんをサポートしています。

また、学生の皆さんへの情報提供では、希望する情報が「学生向け情報提供システム」上に掲載されるごとに、携帯電話にメールで通知が届くシステムを構築し、10月1日より使用を開始しました。このシステムによって、授業情報（休講や補講など）のほか地震・事故等の災害発生時に、登録した地域の緊急災害情報を配信するとともに安否状況を確認するためのメールを配信し、迅速に学生の皆さんの安否情報を把握できるようにしました。

キャリアセンターでは、現況の厳しい就職環境に対応したキャリア支援・就職支援を強化しています。就職支援では、自宅のパソコンや携帯

電話から、希望に応じた求人情報やセミナーの案内が受けられるシステムを導入しました。さらに、低学年からのキャリア支援として「キャリアマインド形成セミナー」「キャリアアップセミナー」を開催するなど、就職対策の強化をはかっています。

施設面では、学生の皆さんが快適にキャンパスライフを送れるように教室棟である1号館をはじめ、至誠館等のトイレを改修しバリアフリー化をすすめました。また、新型インフルエンザの予防対策として、1号館等に手洗い、うがい設備を増設しました。加えて、キャンパス北側の北大路通りに面した地に新たに駐輪場を整備し、北門からの入構の便宜を図りました。

本学に在籍する学生の皆さんが、実り多き学生生活を過ごせるように、今後もより一層教育研究の充実をはかり、キャンパス整備を進めてまいります。ご理解の程よろしく願います。

(大谷大学・大谷大学短期大学部)

(A) 文学部

(年額)

学 費 \ 学 科	真宗、仏教、哲学、社会、歴史、文学、国際文化学科	人文情報学科	教育・心理学科
授 業 料	795,000	795,000	860,000
施 設 費	200,000	350,000	220,000
合 計	995,000	1,145,000	1,080,000

(2010年度入学者は入学金200,000円が必要)

(B) 短期大学部

(年額)

学 費 \ 学 科	仏教科、文化学科	幼児教育保育科
授 業 料	795,000	795,000
施 設 費	200,000	220,000
合 計	995,000	1,015,000

(2010年度入学者は入学金200,000円が必要)

(C) 大学院文学研究科

(年額)

学 費 \ 課 程	修士課程	博士後期課程
授 業 料	480,000	480,000
施 設 費	200,000	200,000
合 計	680,000	680,000

(2010年度入学者は入学金200,000円が必要)
(2006年3月以前の入学者の施設費は120,000円)

谷大エリア散策

第38回 文栄堂・大谷大学店さん (書店)

「谷大エリア散策」最終回の今回は、大学食堂横の文栄堂書店さんを訪ね、店長の田中茂弘さんにお話を伺いました。



店長の田中さん

—いつ頃から大学内で営業されていますか

大谷大学が大正2年に東京の巣鴨からこの地へ移って来て以来ですから、もう何年になるのでしょうか。元々、祖父が「法文館」という書店に勤めており、大学内に設置された店舗の営業を担当していました。やがて独立する際にこの店を譲り受け、「文栄堂」という新しい書店を立ち上げて、父、私と続いて今に至っています。

当時は赤レンガの本館（現在の尋源館）の北側に廊下があり、その端に最初小さな店舗がありました。その後何度か場所を移り、旧体育館の北側にあったクラブボックスの入口にしばらく居ました後、響流館の建設時に学食横の現在の場所に移りました。ここで7～8年目になりますね。



店内の3分の2が仏教書だそう

—営業されている期間は

基本的に授業のある時期はずっと営業し、朝10時から夕方5時まで開けています。春休みは新学期の教科書の準備でとても忙しく、夏休みも集中講義の時期は開店しています。

—どんな本がよく売れますか

大学の先生方の著書はよく売れますね。他にはやはり仏教学・真宗学の本です。新学期のテキストの販売が一番の繁忙期で、4月・5月は来店が多いのですが、この頃は前期・後期の授業が始まって、なかなかテキストを買いに来ない学生さんが増えました。1ヶ月以上経ってから慌てて飛び込んでくる人も結構おられますよ。



天井まで所狭しと並ぶ書籍

—さすがに仏教関係の本が多いですね

これだけ仏教関係の専門書が充実している書店は珍しいのではないのでしょうか。クラブボックス横に店があった時代には、佛教大学の学生さんもよく買いに来られました。東京の大学の先生が来られて驚かれていたこともあります。寺町三条にあるうちの本店は仏教書のための専門店、お寺からの注文をよくいただいています。

—長く学内書店をされていて、学生との交流はいかがですか

祖父や父の時代は学生さんが少なく

て、ほとんどの方と顔なじみだったそうです。とてもアットホームな雰囲気だったそうですが、今は学科が増えて学生さんがとても多く、残念ながらお顔がわからないですね。お寺出身の方は卒業されても来ていただくことがあります。時には息子さんが入学されて一緒に訪ねてきてくださることもあり、嬉しく思います。

先生方の中には昔アルバイト生だった方が結構おられまして、延塚先生と大城先生は2、3年続けておられたそうです。一楽先生、木越先生、三木先生にも教科書販売の手伝いをしていただいていたいました。現在も院生の方に手伝いに来てもらっています。

—学生にどんな本を読んでもらいたいですか

もっと学術書を読んでもらいたいですね。最近は卒論でも講話集などを読む人が増えているのですが、やはりじっくりと学術書に取り組んでもらいたいものです。これだけ専門書が揃っているのですから。常に、学生さんに向けた本をと考えて仕入れていますので、そうした本が売れると嬉しく充実感がありますね。



先生方の著書もちろん販売している

—ありがとうございました

谷大エリア散策連載を終えて

2000年から始まった「谷大エリア散策」もはや9年。最終回を迎えるにあたり、第1回目から最終回にあたる第38回まで近隣店舗の取材を続けてくださった岸和枝さんよりコメントをいただきました。

長きに亘り「谷大エリア散策」の取材に御協力いただき、貴重なお話をお聞かせくださいました多くの皆様に深く感謝申し上げます。いつも何気なく通り過ぎていた大学近隣のお店ですが、一軒一軒お訪ねしてみると、それぞれの家業と仕事に誇りを持って誠実に日々の仕事をこなし、暮らしておられる方々の姿がありました。多くの皆さんがこの北大路近辺の街に大変愛着を持っておられ、また大

谷大学に親しみと懐かしさを感じてくださることを異口同音に語られていました。大谷大学がこの地に設立されて以来の、数多くの学生さんと地域の方々の長年の交流の積み重ねが、大学の目に見えない財産になっていると感じました。この貴重な財産を今後にも生かしていただきたいと思います。最後に、お世話になりましたすべての方々へ心より厚く御礼申し上げます。

学生相談室から



神護寺や屋島のかわらけ投げは有名で、谷に向かつてかわらけを思いっきり投げると爽快であるが、どこまでどのように飛んだのかかわらないから、気分は今一で落ち着かない。「ここまで、このように飛んで

伝え返すということ

昨年の日本のプロ野球は、巨人の7年ぶり日本一で終わったが、始まりは、日本が2連覇したWBCであった。ある野球評論家が、真のMVPは松坂ではなく、出番は少なかったが、広島カープの捕手石原だと言っていたことが、興味深い。石原は、玄人好みの捕手で、ボールの受け方がとても上手い。受けるキャッチャーミットの音で、ピッチャーにボールの威力を知らせる受け方ができるのだそうだ。ストロークを回転よく投げるピッチャーには、ポーンという音で受けて自信を持たせ、今一の変化球には、今一の音で受け、その変化球の使い方に注意を喚起するのだそうだ。その結果、WBCでは、ピッチャーの活躍が大きく、日本は2連覇できた。

「たよ」とモニターできないからであろう。膝を擦りむいて泣く幼児が、母親に抱きしめられて「痛かったねえ。よしよし」と受容されると安心するのは、母親の言動から「痛みをわかって貰えた」と思えるからであろう。「あなたの気持ちわかったよ。」と伝え返すことが、心と絆を安定させるのであろう。相手を受容し、そのことを伝え返すことが忘れられている昨今ではないだろうか。

讓 西賢

学生相談室の開室について

場 所	曜 日	学生相談員	開室時間
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	谷口 奈青理 神田 敬子	10時30分～16時00分
	火曜日	久保 聡史	10時30分～16時00分
	水曜日	宇佐 晋一 (精神科校医)	13時00分～16時00分 (第2週・第4週)
		神田 敬子	10時30分～16時00分
	木曜日	讓 西賢 久保 聡史	10時30分～16時00分
	金曜日	久保 聡史	10時30分～16時00分

「大谷大学広報10-春」発行のお知らせ

「大谷大学広報10-春」の発行を4月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

- ①博綜館ピロティ（博綜館入口横） ②至誠館（学生支援課カウンター前） ③響流館（図書館、教育研究支援課カウンター）
④学内食堂 ⑤各研究室 ⑥1号館1階 ⑦2号館1階 ⑧4号館・5号館1階
また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。

研究室だより

総合研究室から

2010年1月から3月までの総合研究室の開室予定は以下のとおりです。

後期定期試験、卒業式等により開室日や開室時間が変則的になっていきますのでご注意ください。

開室予定に変更のある場合は、ホームページ・学内掲示板でお知らせします。

◆卒業論文提出期日に関わる時間変更

- 1月7日(木)・8日(金) 開室延長
9時開室、20時30分閉室
- 1月6日(水)・10日(日)・11日(月) 特別開室
10時開室、17時30分閉室

◆定期試験に関わる開室延長

- 1月14日(木)～29日(金)までの平日
9時開室、20時30分閉室

◆入試に関わる閉室

- 2月7日(日)～10日(水)
一般入試(第1期)のため閉室

◆卒業式のため時間短縮

- 3月18日(木) 9時開室、15時閉室

◆総合研究室図書整理日のため閉室

- 2月23日(火)

- 黒字 9時開室、19時30分閉室
- 黒字 9時開室、20時30分閉室
- 茶字 10時開室、17時30分閉室
- 茶字 その他の時間変更
- 黒字 閉室日

1月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

2月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28						

3月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

短期仏教科研究室から

- 3月中旬に『仏教研究紀要』第32号の発刊を予定しております。ご希望の方は、短期仏教科研究室までご連絡ください。

幼児教育保育科研究室から

- 「卒業研究発表会」を1月13日(水)午後4時10分～7時00分(第5・6時限)に開催します。授業の一環として行いますので、第1・2学年とも全員必ず出席してください。会場は2301教室です。詳細については、各ゼミ教員からお知らせします。
- 『大谷大学短期大学部幼児教育

保育科研究紀要』第11号を発刊します。幼児教育保育科第2学年には卒業式に、第1学年には進級時のオリエンテーションのときにお渡しします。

- 3月中旬に、今年度の第2学年が提出した「卒業研究」の要旨集を『卒業研究第43号』として発刊します。第2学年には卒業

式の日、第1学年には進級時のオリエンテーションのときにお渡しします。

- 現在、幼児教育保育科一般研究室の図書を借りている方は、1月14日(木)までに必ず返却してください。

学会だより

『大谷学報』『大谷大学研究年報』を無料配布いたします。

1月21日(木)～2月1日(月)の午前9時～午後5時の間に大谷学会事務局(1号館1階)へお越しください。
在庫に余裕のある『大谷学報』『大谷大学研究年報』のバックナンバーを閲覧していただき、ご希望の方には20部(1号につき1部)まで無料でご提供いたします。

尚、数に限りがありますのでご希望に添えない場合もあります。
その場合は何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

仏教学会

◎卒業論文梗概発表会ならびに 送別懇談会

4回生の皆さんが卒業論文にまとめられた研究成果を発表していただきます。

梗概発表会終了後、記念撮影を行い、引き続き送別懇談会を開催します。いずれも無料です。

詳細については、掲示やブログ(<http://bukkyo.seesaa.net/>)上でお知らせします。

宗教学会

◎会誌『宗教学会報』第17号

3月に発行を予定しています。

哲学会

◎冬季研究発表会

2月中旬に開催する予定です。
詳細は後日お知らせします。

★『哲学論集』第56号

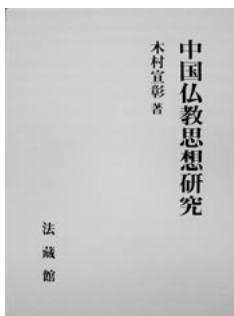
3月下旬に発行を予定しています。

出版物紹介

◎『中国仏教思想研究』

木村宣彰 著
法藏館 刊

(2009.9) 505頁



◎『新 保育の考え方と実践』

瀧川光治 編著
富岡量秀 共著
久美出版社 刊

(2009.10) 237頁

◎『タイ文化圏の中のラオス

—物質文化・言語・民族—』

新谷忠彦、クリスチャン・ダニエルス、園江満 編

高井康弘 分担執筆

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 刊

(2009.9) 401頁

2010年度 自己推薦入試結果

学 部	学 科	募集人員	第1次審査 (書類選考)		第2次審査 (面接)		倍率	合格最低点
			志願者数	合格者数	受験者数	合格者数		
文 学 部	真 宗 学 科	10	10 (0)	10 (0)	10 (0)	10 (0)	1.0	110
	仏 教 学 科	10	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	1.0	100
	哲 学 学 科	10	11 (6)	11 (6)	10 (6)	9 (6)	1.2	113
	社 会 学 科	10	21 (5)	21 (5)	21 (5)	13 (4)	1.6	115
	歴 史 学 科	10	12 (3)	12 (3)	12 (3)	9 (2)	1.3	125
	文 学 学 科	10	26 (12)	21 (12)	21 (12)	12 (10)	2.2	126
	国際文化学科	10	19 (6)	17 (6)	17 (6)	15 (6)	1.3	95
	人文情報学科	10	12 (1)	12 (1)	12 (1)	12 (1)	1.0	108
	教育・心理学科	10	29 (9)	24 (7)	24 (7)	10 (3)	2.9	100
合 計	90	143 (42)	131 (40)	130 (40)	93 (32)	—	—	
短期大学部	仏 教 科	10	10 (3)	10 (3)	10 (3)	10 (3)	1.0	111
	幼児教育保育科	10	25 (20)	25 (20)	25 (20)	12 (11)	2.1	115
	合 計	20	35 (23)	35 (23)	35 (23)	22 (14)	—	—
総 計	110	178 (65)	166 (63)	165 (63)	115 (46)	—	—	

[注1] ()内数字は女子内数。 [注2] 得点は150点満点。

2010年度 文学部第3学年社会人編入学試験結果

学科	コース	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
真 宗 学 科	真 宗 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
		他大学	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
仏 教 学 科	イ ン ド	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	チ ベ ッ ト	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	中 国	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	日 本	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
哲 学 学 科	西 洋 哲 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	倫 理 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	宗 教 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	教 育 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
社 会 学 科	現 代 社 会 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	文 化 人 類 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
歴 史 学 科	日 本 史	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	東 洋 史	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	歴史ミュージアム	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	交 流 ア ジ ア	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
文 学 学 科	国 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	中 国 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	英 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	ド イ ツ 文 学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
国際文化学科	国際文化学	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
合 計		本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
		他大学	3 (1)	3 (1)	3 (1)	
	計	3 (1)	3 (1)	3 (1)		

[注1] ()内数字は女子内数。

2010年度 大学院秋季試験(修士課程)結果

課程	専攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真宗学	定員(20)の50%程度	本学	12 (0)	11 (0)	8 (0)	1.6
			他大学	2 (0)	2 (0)	0 (0)	
	仏教学	定員(20)の50%程度	本学	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.0
			他大学	1 (1)	1 (1)	1 (1)	
	哲学	定員(10)の50%程度	本学	2 (0)	2 (0)	0 (0)	3.0
			他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	社会学	定員(10)の50%程度	本学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.5
			他大学	2 (0)	2 (0)	1 (0)	
	仏教文化	定員(20)の50%程度	本学	8 (4)	8 (4)	8 (4)	1.0
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	国際文化	定員(10)の50%程度	本学	3 (1)	3 (1)	3 (1)	1.0
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計	定員(90)の50%程度	本学	28 (5)	27 (5)	22 (5)	—	
		他大学	6 (1)	6 (1)	3 (1)		
		計	34 (6)	33 (6)	25 (6)		

[注] ()内数字は女子内数。

2010年度 大学院社会人入試(修士課程)結果

課程	専攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修士課程	真宗学	若干名	本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	2 (2)	2 (2)	2 (2)	
	仏教学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	哲学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	社会学		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	仏教文化		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他大学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
	国際文化		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—
			他大学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
合計		本学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	
		他大学	5 (2)	5 (2)	5 (2)		
		計	5 (2)	5 (2)	5 (2)		

[注] ()内数字は女子内数。

2010年度 公募制推薦入試結果

学部	方式	学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点
								最低点
文学部	A方式	真宗学科	10	26 (2)	26 (2)	19 (2)	1.4	90
		仏教学科	8	12 (3)	12 (3)	10 (3)	1.2	78
		哲学科	8	24 (10)	22 (8)	13 (6)	1.7	96
		社会学科	10	41 (15)	39 (15)	15 (7)	2.6	101
		歴史学科	10	28 (12)	28 (12)	17 (7)	1.6	100
		文学科	10	25 (12)	24 (12)	11 (6)	2.2	100
		国際文化学科	10	19 (8)	16 (8)	12 (7)	1.3	92
		人文情報学科	10	24 (11)	23 (11)	17 (8)	1.4	84
	教育・心理学科	10	46 (26)	45 (26)	12 (7)	3.8	108	
	合計	86	245 (99)	235 (97)	126 (53)	—	—	
	B方式	真宗学科	10	28 (2)	28 (2)	19 (2)	1.5	91
		仏教学科	8	14 (2)	14 (2)	12 (2)	1.2	85
		哲学科	8	46 (18)	46 (18)	31 (12)	1.5	99
		社会学科	10	135 (40)	134 (40)	51 (17)	2.6	105
		歴史学科	10	113 (34)	112 (33)	53 (16)	2.1	106
		文学科	10	105 (52)	104 (52)	35 (22)	3.0	111
国際文化学科		10	99 (51)	96 (50)	50 (31)	1.9	99	
人文情報学科		10	73 (25)	72 (24)	49 (21)	1.5	89	
教育・心理学科	10	122 (52)	121 (52)	15 (9)	8.1	121		
合計	86	735 (276)	727 (273)	315 (132)	—	—		
文学部合計			172	980 (375)	962 (370)	441 (185)	—	—
短期大学部	A方式	仏教科	5	3 (0)	3 (0)	3 (0)	1.0	73
		幼児教育保育科	10	35 (32)	35 (32)	17 (16)	2.1	101
		合計	15	38 (32)	38 (32)	20 (16)	—	—
	B方式	仏教科	5	7 (3)	7 (3)	7 (3)	1.0	61
		幼児教育保育科	10	64 (57)	63 (57)	18 (16)	3.5	116
合計	15	71 (60)	70 (60)	25 (19)	—	—		
短期大学部合計			30	109 (92)	108 (92)	45 (35)	—	—
総計			202	1,089 (467)	1,070 (462)	486 (220)	—	—

[注1] ()内数字は女子内数。

[注2] 得点は150点満点。

大谷中学・高等学校からのお知らせ

◆中学演劇コンクール結果 9月10日(木)・11日(金)実施 最優秀賞「My friend」Ⅲ年2組

まだ中学生にインフルエンザ感染者が出ていない時でしたが、感染防止策として全員にマスクを着用させ、劇と劇の間には講堂の窓を全開して空気の換気を徹底させるなどをして演劇コンクールを実施しました。Ⅲ年生の各クラスの演劇は、どのクラスも役者の台詞や動き、裏方の音響や照明・大道具の出来映えなど、過去2年分の経験が活かされ3クラスとも立派なものでしたが、Ⅲ年2組の出し物が最優秀にえられることとなりました。このクラスの演劇は、10月10日(土)のオープンキャンパスでも来場者の方々の前で再上演をしてもらい、大谷中学の宣伝に一役買って貰いました。

◆中学体育祭・赤ちゃん交流

新型インフルエンザによる学級閉鎖のため中止

◆大谷中学・高等学校同窓会総会報告

——「9月26日(土) ホテル ハイアットリージェンシー

大谷が男女共学になってから少しずつ同窓会参加者が増え盛況となってきました。今年は235名の参加があり、旧担任や同窓生・クラブの先輩などと再会し、旧交をあたため、在学中の思い出を懐かしそうに話し合っていました。大谷大学在学中の本校卒業生の皆さんも、今年の9月の最終土曜日に開催される同窓会には是非とも参加してください。

◆大谷高等学校修学旅行先変更

(台湾から北海道道央へ) —— 今年3月上旬実施予定

この旅行も、新型インフルエンザ流行が高校生にも及ぶようになってきたので、行き先の中華民国(台湾)に迷惑をかけてはならないということで急遽変更となりま

した。変わって決定したのが、北海道の富良野とその周辺ということになり、今その準備が始まっています。この新型インフルエンザがここまで長引きくとは誰しも予想しなかったので、ただただ驚くばかりです。

◆車椅子バスケットふれあい学習会

(高校1年生対象人権学習) —— 11月21日(土)午前中

昨年度実施して高校1年生に大きな感銘を与えた車椅子バスケットふれあい学習会を、今年度も実施することになりました。京都アップスと滋賀レイクスの皆さんをお招きし、障害を抱えていても常に強く、前向きに生きていかれている姿勢をみてもらうとともに、生徒達が障害をお持ちの方に対する理解を深め、誤解や偏見を正し、共に生きていく社会を実現できる一助になるようにと、考えて企画したものです。この交流会の様子は、後の大学広報に写真で紹介する予定です。

● 大谷中学・高等学校より ●

一学期の5月に全国的に話題となった新型インフルエンザの流行が、むしろ二学期に入ってから本格化したようで、我が校も9月末から感染者が出始め(感染者の多くは中学1・2年生ですが)、10月から現在の11月中旬までの学校行事が、いくつか中止となってしまいました。そのためお知らせする中身が、例年と比べ希薄なものとなってしまいました。早く流行が終息することを切に願っています。

九州大谷短期大学からのお知らせ

◆2010年度一般・社会人入試日程

	出願期間	試験日
一般入試A日程 社会人2次	1月12日(火) ↓ 1月28日(木)	2月2日(火)
一般入試B日程 社会人3次	2月15日(月) ↓ 2月25日(木)	3月2日(火)

※コミュニケーション入試のエントリーは2010年3月30日(火)まで。
詳しくは入学センターまでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

九州大谷短期大学入学センター (TEL. 0942-53-9900)

◆「大谷派教師資格試験検定」準備学習会のご案内

大谷派教師資格試験検定受検のために
真宗の教えを基礎から系統的に学ぶために

1. 会場/本学生涯学習センター
2. 開設期間/2月16日(火)～2月25日(木)
※20日(土)・21日(日)は休講
3. 講義科目/①真宗学 ②仏教学 ③教化学
④声明作法 ⑤法規
4. 受講希望受付/1月22日(金)まで
5. 受講手続期限/1月29日(金)まで

事前に申し込み連絡をしていただいた上での願書提出・受講料納付の期限となっております。

お問い合わせ

九州大谷短期大学総務課 (TEL. 0942-53-9900)

2009年度 後期 生涯学習講座案内

大谷大学では様々な教養を身につけたい方に、本学の研究成果をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、現代社会をいかに生きるのかをテーマとする講座、京都の文化の奥深さを知る講座など、切り口は多様ですが、共通するテーマは「人間」です。大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。

開放セミナー

○大乘仏教のあゆみ —親鸞の眼を通して—

<協賛：NPO法人尋源舎>

—概要—

2011年の宗祖親鸞聖人750回御遠忌を記念した開放セミナー「大乘仏教のあゆみ—親鸞の眼を通して—」を開講します。

親鸞の『正信偈』や『高僧和讃』にでてくる七高僧（龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然）はどんな人たちだったのでしょうか。親鸞はまた、仏教が日本に伝わるはじまりに聖徳太子を置き「和国の教主」として称えています。

本講座は、仏教がインドで生まれ中国を経て日本に伝わり、さらなる展開を遂げていく様子を、真宗学・仏教学・歴史学の各分野の視点から学ぶものです。

学長による総論（2007年度後期）によってスタートし、龍樹・天親・曇鸞・道綽・善導・源信・法然・聖徳太子（2010年度前期）の“人と思想”をテーマにして本学教員がリレー講義を行い、親鸞の眼を通した大乘仏教のあゆみを明らかにしていきます。

■開放セミナー「大乘仏教のあゆみ」は、NPO法人尋源舎の協賛を得て、開催いたします。

—開講計画—（※は終了しました）

	前期 5～7月	後期 10～12月	冬期 2月～3月
2007年度		①総論（3回）※	②龍樹（6回）※
2008年度	③天親（6回）※	④曇鸞（6回）※	⑤道綽（6回）※
2009年度	⑥善導（6回）※	⑦源信（6回）※	⑧法然（6回）
2010年度	⑨聖徳太子（6回）		

○大乘仏教のあゆみ —親鸞の眼を通して—⑧ 「真宗興隆の大祖 —法然—」

—概要—

法然は平安時代の末期、美作国（現在の岡山県久米郡）に豪族の子として生まれました。しかし9歳の時、父が襲われ目の前で殺されるという悲劇に出遭います。死に際し父は、幼い法然に仇討ちを禁じ、出家をうながしました。父の遺言を胸に、家柄や敵味方関係なく、人々が共に救われる世界を求めての法然の求道が始まります。

比叡山におけるひたむきな求道の中、法然は教えを求めて一切経を繰り返し読む日々を送っていました。そしてある日、善導大師の著された『観経疏』の一文に出会います。この出会いにより、念仏の真意に触れた法然は専修念仏に帰す身となったのです。

法然は身分に関係なくあらゆる人々に念仏の教えを説きました。その教えはまたたく間に民衆の中に広まりました。その様子について親鸞は次のように述べています。

本師源空世にいでて 弘願の一乗ひろめつつ

日本一州ことごとく 浄土の機縁あらわれぬ（『高僧和讃』）

しかし、法然の思想は当時の伝統仏教界の反発を招き、念仏弾圧事件へと発展していくのです。

この講座では、法然が生きた時代と社会に留意しながらその生涯と思想を学び、親鸞の思想との関わりを考えてみたいと思います。

—講座内容—

- (1) 法然の時代と社会① —法然の生涯—
- (2) 法然の時代と社会② —法然の生きた時代—
- (3) 法然の思想① —『選択本願念仏集』—
- (4) 法然の思想② —一向専修—
- (5) 親鸞と法然① —本師源空—
- (6) 親鸞と法然② —信心をもって能入とす—

講 師	草野 颯之 (大谷大学教授)	時 間	18:00~19:30
	藤谷 昌紀 (大谷大学講師)	定 員	100名
	山田 恵文 (大谷大学講師)	会 場	響流館3Fメディアホール
開講日	2010年2月3日・17日・24日・ 3月3日・10日・24日 (水曜日)	受講料	6,000円 (税込)
		申込締切	1月27日(水) 当日消印有効

紫 明 講 座

○「宗教と疑似科学 —現代における宗教の諸相—」

—概要—

科学の発展に伴い合理的思考が進んだ現代では「無宗教」を標榜する人が多く見られます。一方で、宗教と不可分な面があるスピリチュアリティや精神世界、さらには超常現象や疑似科学、またカルトに関心を抱く人々も近年増加しています。そこで、カルトがなぜ流行するのか、あるいは平和を説く宗教がなぜ宗教戦争を引き起こしているのかといった疑問について、本講座では宗教学という科学的な視点から解明していきたいと思えます。

—講座内容—

- (1) 「宗教」のはじまり
- (2) 宗教と科学の関わり —占星術、錬金術と自然科学の発展—
- (3) 現代における宗教 —カルトと疑似科学—

講 師	狭間芳樹 (大谷大学・京都橘大学非常勤講師)	定 員	100名
		会 場	メディアホール
開講日	2月20日・27日・3月6日 (土曜日)	受講料	3,000円 (税込)
時 間	14:00~15:30	申込締切	2月12日(金) 当日消印有効

詳細なパンフレットをご希望の方は、下記までお問合せください。
また受講申し込みの際には、ハガキ、FAX、Eメールいずれかにて、
①講座名 ②氏名・フリガナ ③郵便番号・住所 ④電話番号を明記してください。

— 連 絡 先 —

教育研究支援課KO係
TEL: 075-411-8161 FAX: 075-411-8162 E-mail: o_semi@sec.otani.ac.jp

※講座名、日程、受講料など変更になる場合があります。その旨ご了承くださいますようお願いいたします。

2010 年度学年暦

【前期】													【後期】																
行事予定等													行事予定等																
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土									
			3/30	31	1	2	3	4月	1日(木)											1	2	10月	6日(水)						
							4月																10月	8日(金)					
	4	5	6	7	8	9	10	3月	30日(火)						3	4	5	6	7	8	9	11月	1日(月)						
								4月	5日(月)						10	11	12	13	14	15	16	11月	3日(水)						
	11	12	13	14	15	16	17	6日(火)						17	18	19	20	21	22	23	11月	12日(金)							
								8日(木)						24	25	26	27	28	29	30	11月	15日(月)							
	18	19	20	21	22	23	24	10日(土)						31							12月	23日(木)							
								12日(月)													12月	24日(金)							
	25	26	27	28	29	30	20日(火)													1月	4日(土)								
							27日(火)													1月	10日(金)								
							28日(水)													1月	18日(土)								
							28日(水)													1月	23日(木)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							28日(水)													1月	24日(金)								
							28日(水)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)													1月	24日(金)								
							29日(木)																						

近年開催された展覧会の中で圧倒的な人気を誇ったのは、何といても奈良・興福寺の阿修羅像だった。東京と九州の国立博物館で165万人もの人々を魅了したという。これは驚くべき数字だ。さぞかし阿修羅様もびっくりされたことだろう。1年足らずの間に、こんなに多くの人々に見つめられたことは、これまでなかったに違いない。

阿修羅像は、天平6年(734)に光明皇后の発願により建てられた西金堂に安置されていた。釈迦如来像を本尊とする群像28体のうちの1体である。作られてから1,300年にもなろうとする年月を経て、私たちの前に

立っているのは驚きだ。

日本には、魅力的な数多くの仏像が残されているが、これらはかつて造られた仏像の全体から見ればごく一部に過ぎない。興福寺の場合も、度重なる災禍にあい、奈良時代創建期の仏像のうち残されているのは、わずかに阿修羅像を始めとする八部衆、十大弟子像のうちの14体のみ。

仏像を始めとする美術工芸品や建造物が失われる主な原因は、自然災害や戦禍などによる火災である。1923年の関東大震災に罹災した作品のリストをみると、その夥しい数に啞然とする(『罹災美術品目録』、国華倶楽部、1933年)。ちなみにこの

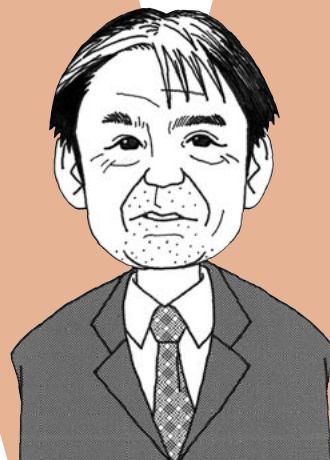
時、東京の大倉集古館に収蔵されていた興福寺十大弟子像のうちの1体、優婆離と呼ばれる像(明治時代に興福寺から流出した)も焼失している。阿修羅像は、これを伝えなくてはならないという人々の強い意志と偶然とが重なって、幸運にも現代に残されたと言えよう。

これに加えて、明治初年の廃仏毀釈で多くの仏教美術が失われたように、社会の混乱や価値観の相違により破壊されてしまったものもある。一例を挙げれば、奈良県天理市にあった内山永久寺では、堂舎が破却され、仏像や寺宝は散逸して、その実態は、ほとんどわからなくなっ

話題の広場 SQUARE

文化財の受難

齋藤望



絵 内山智廣

まった。

これは、過去の話ではない。世界へ眼を転じると、同様のことが今でも行われている。国際条約で文化財の輸出入が規制されているにもかかわらず、紛争地帯で盗掘されたり、不法に国外へ持ち出された美術品が、古美術の市場に登場する。

それでは、現代の日本で、文化財はしっかり保護されていると言えるのだろうか。しばしば、歴史的景観や建造物、遺跡などをめぐって、保存と開発のどちらを優先するのか意見が対立する。その論争を見ていると、私たちにとって何が大切なのか、必ずしも価値観が共有されているとは言えないように思う。おそらく私たちの知らないところで、価値が認識されずに、あるいは維持に困って

打ち捨てられている未指定文化財がたくさんあるに違いない。文化財の受難は、今日的な問題なのだ。

さらに、憂慮されることがある。文化財の活用が叫ばれるなかで、公開や観光振興の名目の下に、知らず知らずのうちに、文化財にダメージを与えていることはないだろうか。

観光地の博物館などで、あまり作品の入れ替えをしていないと思われる展示に出会うことがある。日本の美術品は、温湿度や光に対してデリケートだから、保存を考えるとまずから展示期間は制限される。作品を酷使していることはないだろうか。

また、毎年2月になると日本各地で「雛」のイベントがはじまる。1~2ヵ月間にわたって過酷な環境下に置かれるお雛様に悪影響はないか。

今のやり方を続けていると、いずれ着衣の色が褪せてくるに違いない。染織品は紫外線に弱い。

文化財の公開と保存とは表裏一体の関係にある。文化財を多くの人々が鑑賞し、楽しむことには大きな意義があるけれど、過度に公開を進めることによって文化財を傷つけてしまっ

ては取り返しがつかない。形あるものは、年月の経過とともに徐々に劣化する。そのスピードを早めるのも緩やかにするのも人間次第である。文化財を現代に生かしながら、なおかつ着実に後世に伝えていく方策が、もっと真剣に考えられなければならない。

(さいとう のぞむ)
教授 日本美術史